

上里町の教育

平成26年度



上里町指定文化財(1962年2月22日指定)・無形民族文化財:東音頭
かみさとふれあい祭りにて撮影(東音頭保存会)

上里町教育委員会

目 次

上里町民憲章	2
学びとふれあいの町宣言	3
町章・町の木・町の花	4
上里町の概要（沿革・町勢概況）	5
上里町教育関連施設及び生涯学習関連施設	8
教育委員会組織図	9
平成26年度教育予算（当初）	10
平成26年度教育行政重点施策	11
指導の重点	16
学校紹介	
神保原小学校	19
賀美小学校	20
長幡小学校	21
七本木小学校	22
上里東小学校	23
上里中学校	24
上里北中学校	25
小学校児童・生徒数の推移	26
小中学校学級編制一覧表	27
小中学校教職員配置状況一覧表	28
学校建設事業	29
学校施設・設備等一覧表	30
平成26年度上里町生涯学習の方針・施策	33
平成26年度上里町社会教育事業	
生涯学習推進事業	36
スポーツ振興	38
人権教育指導方針	39
公民館	41
図書館	45
郷土資料館	46
上里町指定文化財一覧表	48
生涯学習関連施設	51
特別職等の名簿	53
上里町々歌	57
生涯学習とシンボルマーク	58



上里町民憲章

わたくしたちは、この町を愛し、この町の町民であることに誇りをもち、緑と太陽のある住みよい上里町をつくるためこの憲章を定めます。

1. きまりを守り明るい

町をつくります。

1. 健康で心豊かな

町をつくります。

1. 自然を愛し美しい

町をつくります。

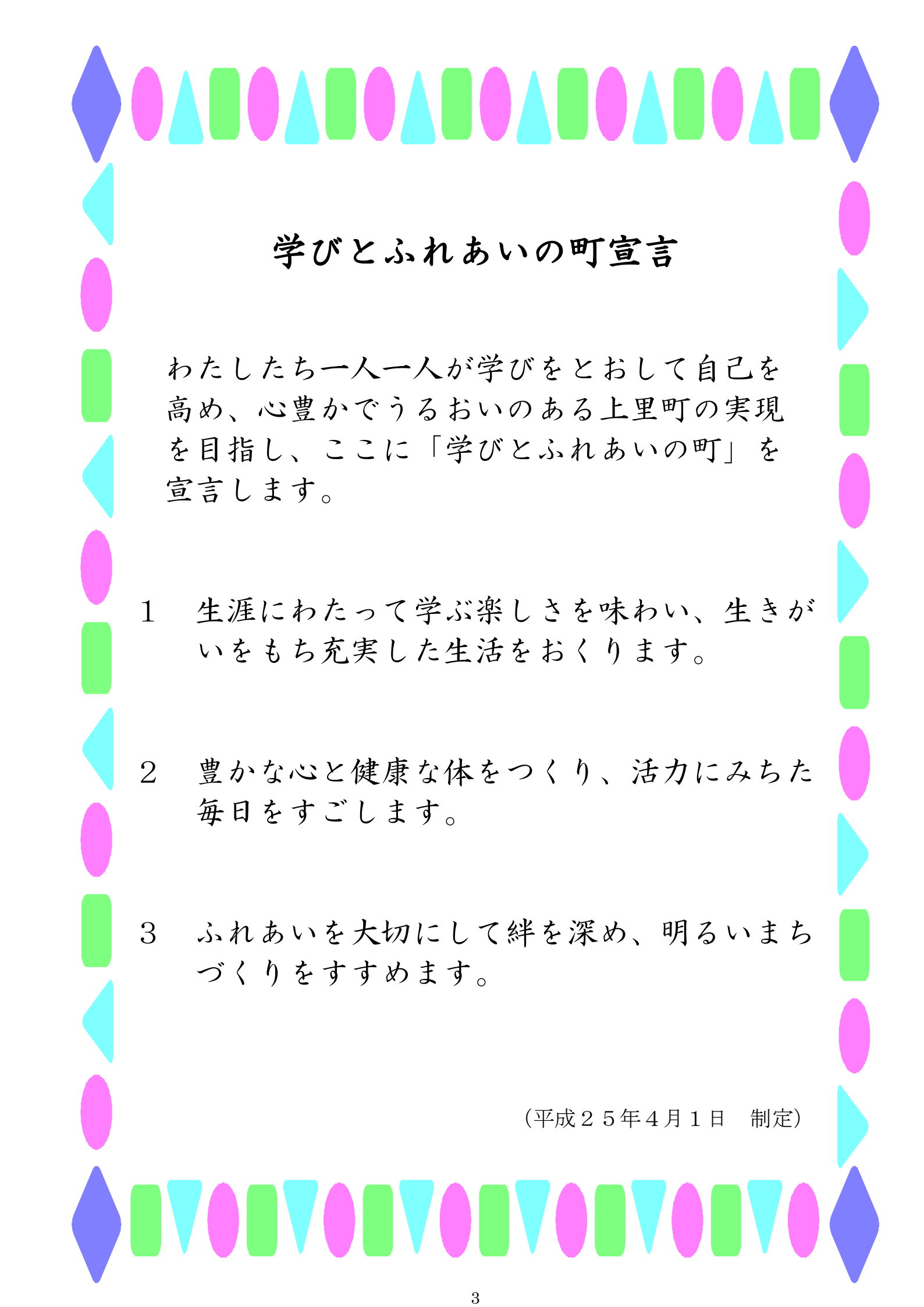
1. 幸せにみちた活力ある

町をつくります。

1. 文化を高め魅力ある

町をつくります。

(昭和59年10月1日制定)



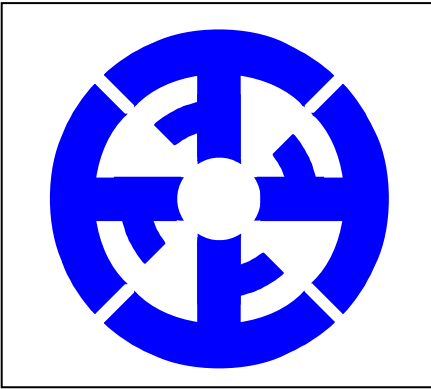
学びとふれあいの町宣言

わたしたち一人一人が学びをとおして自己を高め、心豊かでうるおいのある上里町の実現を目指し、ここに「学びとふれあいの町」を宣言します。

- 1 生涯にわたって学ぶ楽しさを味わい、生きがいをもち充実した生活をおくります。
- 2 豊かな心と健康な体をつくり、活力にみちた毎日をすごします。
- 3 ふれあいを大切にして絆を深め、明るいまちづくりをすすめます。

(平成25年4月1日 制定)

町章



昭和46年11月3日制定

この地方が古く武蔵国の上にあたることから上里と名付けられた由来と、4ヶ村から生まれた上里の「上」で円を描き、「人と和と円満」を示しています。

さらに、外周に形どられた円は限りない「町の発展と躍進」を象徴したものです。

昭和52年8月26日制定

庭木として植栽された春に、紅・白などの花をつける日本の代表的な花木です。ツバキに「椿」の字を当てるのは、これが、春のよろこびを伝える代表的な木だからと言われています。

また、八重椿は、ツバキ科に分類され、常緑の高木になります。

町の木 — 八重椿



町の花 — サルビア



昭和52年8月26日制定

夏から秋まで咲き続け、花壇に最もよく使われる代表的な花です。シソ科に分類される一年草でブラジルの原産です。花の色は、朱紅、紫、白などの品種があります。

花は数日で落ちてしまいますが、同色のガクはいつまでも残って美しいものです。

上里町マスコットキャラクター こむぎっち

平成23年11月3日誕生

町制施行40周年を記念して、637点の応募の中から、町特産の種子小麦をモチーフにしたデザインのマスコットキャラクター「こむぎっち」が誕生。特徴は、豊かに実った小麦の穂のヘア。この小麦の粒の中には、夢と幸せがつまっています。



上里町の概要

1 上里町の沿革

本町に暮らす人々の痕跡は平成9年（1997）に七本木で発見された槍先に使われる「木の葉形尖頭器」によって1万4千年前の旧石器時代にまで遡ることができます。その後約1万年続く縄文時代には、たくさんの土器や石器が発見されています。その中には、石斧や石皿などの生活道具があり、まだ住居の跡は確認されていませんが縄文人が狩猟・採集の生活を営んでいたことがわかります。

水田が作られ畑を耕すようになったのは今から約二千年前の弥生時代からで、河川沿いの低湿地に小規模な集落が営まれていたと考えられています。古墳時代になるとしだいに大規模な開発が行われ、本町全域に集落がつくられるようになり、帯刀・大御堂本郷・下郷・東堤・神保原町には数多くの古墳が築造されました。

奈良時代にはさらに開発が進み、集落の数が増えます。また、奈良東大寺正倉院に納められた天平勝宝5年（753）銘の布には「武蔵国加美郡」と書かれていました。この布は税金として納められた庸布で、この時代に律令制に組み込まれた集落が本町にあったことがわかります。

平安時代には堤の田中や中堀・嘉美・立野などで集落の跡が発見されています。特に中堀遺跡（現 堤遊水池公園）では9世紀前半～10世紀前半の豪族の居宅・倉庫・寺院や鍛冶などの工房が発見されています。ここからは海外から運ばれた陶磁器や大量の貯蔵用の甕などが見つかっていて、ここに住んでいた豪族が豊かな生活を営んでいたことがわかっています。この集落の終焉が将門の乱（天慶の乱）と同じ時期なため、この乱とのかかわりも注目されています。

また、この頃編さんされた延喜式（927年）には武蔵国44座の内、延喜式内社として今城青八坂稲実神社や長幡部神社など4社の神社が朝廷から幣帛を受けていたことが書かれていて、当時から本町が重要な地域として栄えていたことがわかります。

中世には、金窪城や長浜城が築かれ、「平家物語」「源平盛衰記」「吾妻鑑」「太平記」などには本町にゆかりのある武蔵七党のひとつ丹党の勅使河原・安保・長浜などの武士団の活躍が書かれています。

江戸時代には、石神村・金久保村・勅使河原村を通る中山道が整備され、街道を往く人々の休憩場である立場が置かれた石神村には茶店や酒屋、髪結い・一膳飯屋・豆腐屋・わらじなどを置く店が軒をつらねていました。また、脇往還として藤岡道が整備され、七本木や安保町・長浜町・横町は町場として発展しました。

その他、神流川や烏川には渡船場があり、毘沙吐村と黛村には水運を利用した物資の運搬の拠点である藤の木河岸や同じく八町河原村には八町河岸がおかれしました。

明治時代には、16年に高崎線が新町まで開通し、30年には神保原駅が設置されました。明治22年には、それまで24ヶ村に分かれていた本町の村々が賀美村・長幡村・七本木村・神保原村の4ヶ村に合併し近代国家を目指す国策の中でそれぞれが発展をとげました。

この4ヶ村が合併し上里村となったのは昭和29年5月のことで、昭和46年の町制施行をへて現在に続いています。

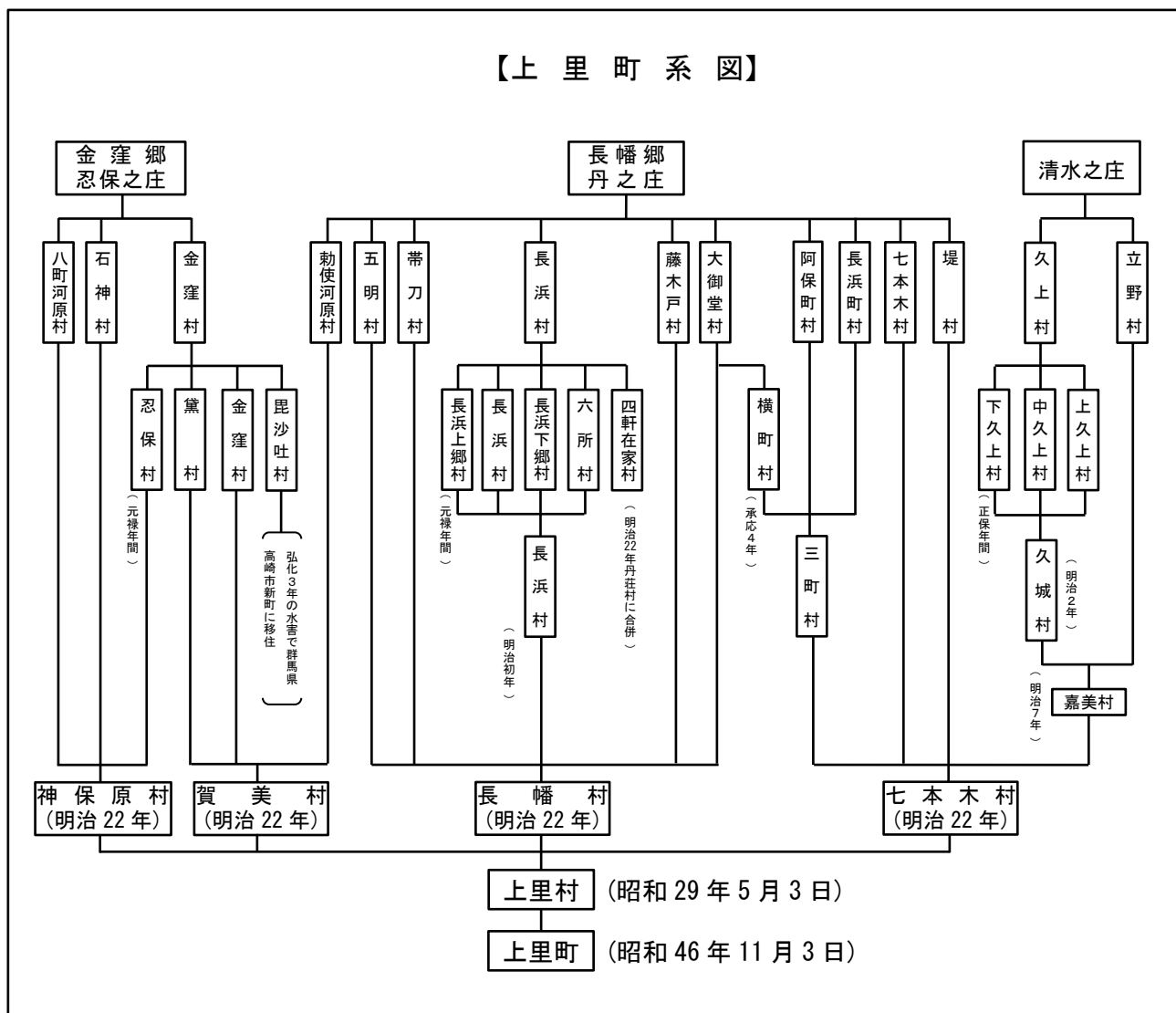
その間には、国道17号・上越新幹線・関越自動車道の開通があり、平成9年に人口は3万人を超え、町制施行から30年という記念すべき節目の平成13年には、町のシンボルとなる新庁舎が竣工し、平成23年にはマスコットキャラクター「こむぎっち」が誕生しました。

また、平成25年4月1日には、「学びとふれあいの町宣言」が制定され、11月には、「こむぎっち体操」が完成、上里中学校新校舎棟も竣工しました。

2 上里町の基本目標

本町は次の4つの基本目標を掲げ、すべての町民が生きがいと幸せを享受できるよう「豊で活力ある生活文化都市」の実現に向け取り組んでいます。

1. 健康で幸せな暮らしのあるまちづくり（福祉健康の増進）
2. 快適でうるおいのあるまちづくり（都市基盤の整備）
3. にぎわいと活力にあふれたまちづくり（産業経済の振興）
4. 心豊かな人の住むまちづくり（教育文化の向上）



3 町勢概況

[位置・人口] 平成26年3月31日現在

北緯 36度14分

東経 139度08分

海拔 最高 85m

最低 52m

面積 29.21km²

人口 31,516人（うち外国人 979人）

男 15,626人（うち外国人 451人）

女 15,890人（うち外国人 528人）

世帯数 12,092世帯（うち外国人世帯 544世帯）

[地理]

本町は、埼玉県の最北端にあるが、都心からは約85km圏に位置し、北西部は烏川・神流川を境に群馬県玉村町、高崎市（新町）、藤岡市に接し、南東部は本庄市、神川町と接している。

東西約6km、南北5.5kmとほぼまとまった地形をなしている。

[産業]

本町は、かつては肥沃な大地を活かし、あるいは用水を開削して新田を開発するなどして農産物の供給地として栄えてきたが、昭和56年には児玉工業団地の開設、平成25年より上里サービスエリア周辺地区整備事業産業団地の分譲も始まり、平成27年度中には、スマートインターの完成が予定されている。

また、近年は、周辺都市への住宅供給地としての地域機能がますます高まり、特に町東部地域における住宅建設が盛んで、そのため大型商業施設が開業するなどして商業も発展しつつある。

これに伴って本町は災害のない穏やかな風土と豊かな自然に恵まれた産業・住宅地域としてのイメージが強くなってきている。

[交通]

鉄道…東日本旅客鉄道（株） 高崎線「神保原駅」

町の中央を東西に上越新幹線が通過しており、平成16年には本庄市に本庄早稲田駅が開業し、本町の利用者が年々増加している。

道路…町の中央を東西に関越自動車道、北部を国道17号線、南西部を国道254号線が通過し、埼玉県の北の玄関口として交通の要衝となっている。

上里町教育関連施設及び生涯学習関連施設

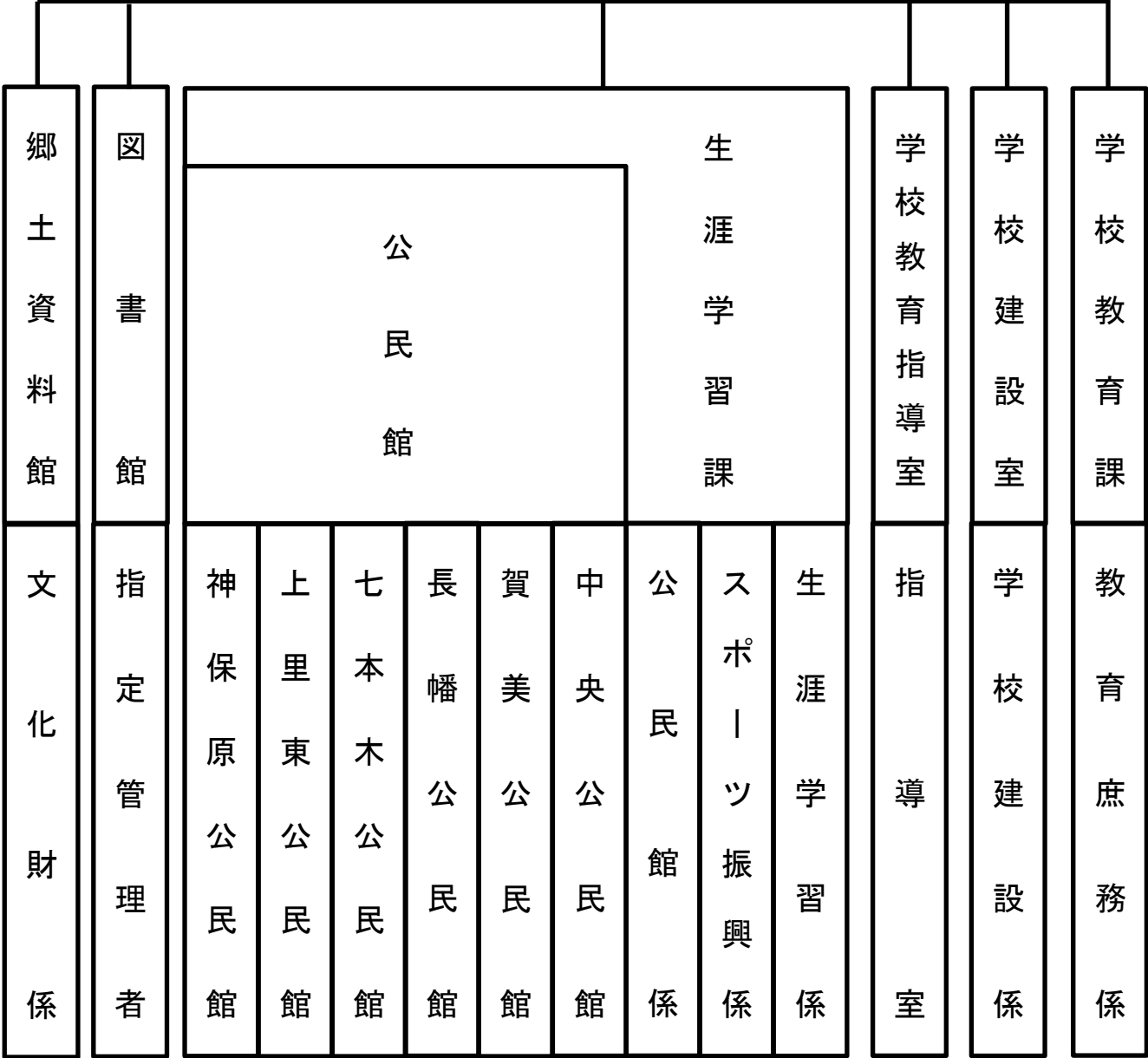


1	上里中学校	33-2974	11	長幡公民館	34-1725	18	勤労者総合文化センター (ワープ上里)	34-0488
2	上里北中学校	33-7749		長幡児童館	35-3541			
3	賀美小学校	33-0026		長幡児童公園	—	19	忍保パブリック公園野球場	—
4	長幡小学校	33-0907	12	七本木公民館	34-1726	20	長久保公園テニスコート	—
5	七本木小学校	33-0544	13	上里町東公民館	34-1041	21	堤調節池運動公園グラウンド	—
6	上里東小学校	33-1621		上里町東児童館	35-3451	22	工業団地遊水池グラウンド	—
7	神保原小学校	33-3074	14	神保原公民館	34-1727	23	宮多目的広場サッカー場	—
8	町民体育館 多目的スポーツホール	33-7655		神保原児童館	33-3621	24	男女共同参画推進センター (ウイズ・ユース上里) 七本木児童館 七本木児童公園	35-1357 35-1356 —
9	中央公民館	33-8628	15	賀美児童館	34-1100			
10	賀美公民館	34-1724	16	出土文化財管理センター	33-2682			
			17	図書館・郷土資料館	34-0455			

教育委員会組織図

教育委員会

教育長



平成26年度教育予算(当初)

[単位：千円]

一般会計

歳出合計 7, 750, 900

一般会計歳出合計に対する割合

款9 教育費 789, 464 (10.2%)

項 (千円) (教育費に対する割合)	目	予算額 (千円)	教育費に対する割合
教育総務費 207, 607 (26.2%)	教育委員会	1, 223	0.2%
	事務局費	206, 384	26.0%
小学校費 103, 015 (13.1%)	学校管理費	61, 992	7.9%
	教育振興費	41, 023	5.2%
中学校費 102, 600 (13.0%)	学校管理費	71, 648	9.1%
	教育振興費	30, 952	3.9%
社会教育費 170, 594 (21.6%)	社会教育総務費	34, 807	4.4%
	公民館費	45, 887	5.8%
	図書館費	59, 322	7.5%
	郷土資料館費	25, 316	3.2%
	人権教育費	5, 262	0.7%
保健体育費 205, 648 (25.6%)	保健体育総務費	25, 507	3.2%
	給食センター管理費	166, 565	20.7%
	体育施設費	13, 576	1.7%

平成26年度 上里町教育行政重点施策

人々の価値観はますます多様化し、「ものの豊かさ」から「ゆとり」や「心の豊かさ」を求める声が高まっています。

先行き不透明で変化の激しい時代ではありますが、3.11東日本大震災以来、人々の絆の大切さが再認識されています。

そこで、上里町が地域の絆を大切に、将来にわたって生きがいに満ちた活力ある郷土として発展するために、教育の果たす役割がますます高まっております。

上里町では、平成25年4月1日に町民一人一人が「学び」を通して、自己を高め、心豊かでうるおいのある上里町の実現を目指して「学びとふれあいの町」宣言を告示し、制定いたしました。

そこで、生涯学習の視点に立った教育を推進するため、次の基本目標を基に「上里町教育行政重点施策」を策定しました。

《学びとふれあいの町宣言》

わたしたちは一人一人が学びをとおして自己を高め、心豊かでうるおいのある上里町の実現を目指し、ここに「学びとふれあいの町」を宣言します。

- 一 生涯にわたって学ぶ楽しさを味わい、生きがいをもち充実した生活をおくれます。
- 一 豊かな心と健康な体をつくり、活力にみちた毎日をごします。
- 一 ふれあいを大切にして絆を深め、明るいまちづくりをすすめます。

平成25年4月1日 上里町

<基本目標1 確かな学力と自立する力の育成>

子供たちに基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させます。小・中学校9年間の連続した学びを推進するとともに、新学習指導要領の学力観に基づき、知識や技能の習得とともに思考力・判断力・表現力などを含めた「確かな学力」をはぐくみます。

ICTの活用により、時代の変化に対応する教育を推進します。また、地域と連携し、キャリア教育を充実します。

幼保小連絡協議会を充実し、幼児期の教育と小学校教育への円滑な接続を図ります。そして、ノーマライゼーションの理念に基づき、特別支援教育を推進します。

【重点施策】

①確かな学力の育成

- 「教育に関する3つの達成目標」の推進
- 新学習指導要領の学力観に基づいた、確かな学力の向上
- 少人数指導などによるきめ細かな指導の充実

②時代の変化に対応する教育の推進

- 小学校段階における外国語活動を通して、外国への関心を育成
- ICTを活用した分かりやすい授業と環境教育の推進

③進路指導・キャリア教育の推進

- キャリア教育に関する指導資料に基づいた教育の推進
- 地域との連携・協力の推進

④幼保小中の連携の推進

- 幼保小連携協議会の充実
- 小学校教育と中学校教育との円滑な接続

⑤特別支援教育の推進

- ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進

<基本目標2 豊かな心と健やかな体の育成>

子供たちの規範意識や豊かな心をはぐくむため、道徳教育の一層の推進を図ります。

児童生徒のいじめを許さない意識の醸成を図るとともに、いじめ・不登校の未然防止や早期発見・徹底した対応を目指した体制を整備し、地域や関係機関と連携して生徒指導を充実します。

また、「人権感覚育成プログラム」などの活用をとおして、人権を尊重した教育を推進します。さらに、食育の学習や生活リズムの改善などをとおして、子供たちの健康保持・増進を図るとともに、外部指導者などの支援による運動部活動の充実により、児童生徒の体力を向上させます。

【重点施策】

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

- 「埼玉の子ども70万に体験活動」の推進
- 彩の国どうとく資料などを活用した道徳教育の推進
- 読書活動の推進

②いじめ・不登校の防止

- 児童生徒のいじめを許さない意識の醸成といじめの早期発見と徹底した対応
- 教育相談体制の整備・充実によるいじめ・不登校の防止

③生徒指導の充実

- 地域や関係機関との連携による非行・問題行動の防止

④人権を尊重した教育の推進

- 人権問題を主体的に考え行動する児童生徒の育成

⑤体力の向上と学校体育活動の推進

- 食育や生活リズムの改善、学校体育の充実による児童生徒の体力向上
- 外部指導者などの支援による運動部活動の充実

<基本目標3 質の高い学校教育の推進>

大学と連携して外部指導者を積極的に招聘し、充実した校内研修による教職員の資質能力の向上を推進します。

学校施設の耐震対策を継続し、登下校の見守り活動を推進するなど子供たちの安心・安全確保のための取組を推進します。

また、教職員が子供と向き合う時間を確保するための環境づくりを推進します。

【重点施策】

①教職員の資質能力の向上

- 教師の授業力向上に関する取組の推進
- 教師が主体的に取り組む校内研修の推進
- 外部指導者の積極的な招聘

②子供たちの安心・安全の確保

- 学校施設の耐震対策の推進
- 家庭・地域と連携した見守り活動、交通安全教育などによる学校安全教育の推進

③学習環境の整備・充実

- 学習環境の整備・充実

<基本目標4 家庭・地域の教育力の向上>

家庭における教育を支援するため、「親の学習」や「親となるための学習」を推進します。また、地域の教育力の向上では小・中学校における「学校応援団」の活動を充実します。

学校・家庭・地域が一体となった教育の推進を図るため、放課後や週末などの子供たちの居場所づくりを推進します。

【重点施策】

①家庭教育支援体制の充実

○「親の学習」の推進

○「親となるための学習」の充実

②地域の教育力の向上

○「学校応援団」の活動の充実

③学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

○放課後や週末、長期休業期間における子どもの居場所づくりの推進

○子供の居場所づくりを推進するための指導者の養成

<基本目標5 生涯学習とスポーツの推進>

社会の要請と町民の学習ニーズに応える質の高い学習機会を提供し、学びとふれあいのある活力に満ちた生涯学習社会の実現に努めます。

また、上里の魅力ある文化芸術の振興と伝統文化の継承に努めます。

さらに、町民が健康で活力ある生活を送れるよう、スポーツやレクリエーション活動の機会を充実するとともに健康づくり体操「こむぎっち体操」の普及などスポーツの振興を図ります。

【重点施策】

①生涯にわたって学ぶ楽しさを味わえる生涯学習の推進

○生涯学習推進体制の整備

○公民館を中心とした生涯学習機会の充実

○図書館活動の充実

○子ども向け体験活動の充実

②文化芸術の振興と伝統文化の継承

○文化財の保存と活用の推進

○文化団体の育成と文化活動の促進

○郷土資料館等における活動・施設の充実

③スポーツやレクリエーションを通じた元気な上里づくり

○生涯スポーツ・レクリエーション活動充実

○スポーツ・レクリエーション活動の場の確保

○「こむぎっち体操」の普及による、健康づくりに対する機運の醸成

学校教育



神保原小学校



賀美小学校



長幡小学校



七本木小学校



上里東小学校



上里中学校



上里北中学校

指導の重点

1 学校経営

創意工夫を生かし、特色ある教育活動の充実を目指す

- ① 校長を中心に全教職員の創意を生かし、学校の教育目標の実現に努める。
- ② 地域や各学校の実態に即した教育課程の編成・実施・評価を行い、その改善に努める。
- ③ 校務分掌組織を活性化し、学校、学年、学級の一貫した経営に努める。
- ④ 研修を充実し、教員として資質を磨きあい、創意・工夫を生かした教育活動の展開を図る。
- ⑤ 「学校応援団」など地域社会との連携を深めるとともに、一層開かれた学校づくりに努める。

2 学習指導

生きる力を育む授業の創造を目指す

- ① 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる。
- ② 言語活動を充実させ、児童生徒の思考力、判断力、表現力等を育むように努める。
- ③ 学習習慣確立のため、家庭と連携し、家庭学習も視野に入れた指導を行う。
- ④ 児童生徒一人一人の学習状況を的確に把握し、個に応じた指導の実現に努める。
- ⑤ 指導と評価の一体化を図るとともに、学習指導の改善・充実に努める。

3 生徒指導

心豊かな児童生徒の育成を目指す

- ① 管理職のリーダーシップの下、全教職員の共通理解に基づいた校内指導体制を確立する。
- ② 児童生徒のもつそれぞれの特徴や傾向を理解し、深い信頼関係に基づく指導・援助に努める。
- ③ 児童生徒の発達の段階と特性を十分考慮し、教育活動全体を通じて指導・援助する。
- ④ 小中連携をはじめ、地域の関係諸機関との協力関係を一層密に、健全育成活動を推進する。

4 進路指導・キャリア教育

自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、進路指導・キャリア教育の充実を図る

- ① 全教職員による協力的な指導体制を整備し、指導計画の作成とその実施に努める。
- ② 児童生徒理解を基盤にした指導・援助を計画的、組織的、継続的に行う。
- ③ 中学校における進路選択の指導に当たっては、生徒自らの意志と責任で進路を選択決定できるよう、キャリア教育の意義を踏まえた指導・援助に努める。
- ④ 小学校においては、キャリア教育を推進するための学校内の組織、体制づくりを行い、体験活動等も活用し、発達の段階に応じたキャリア教育の推進に努める。

5 道徳教育

人間としての生き方を身に付け、実践できる児童生徒の育成を目指す

- ① 指導の充実を図り、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。
- ② 道徳教育の全体計画は、校長の方針の下、推進教師や推進委員会を中心に、全教職員の参加と協力により作成する。
- ③ 小・中学校の道徳の時間では、道徳的实践力を育成する。
- ④ 指導に当たっては、教師と児童生徒の信頼関係及び児童生徒相互の人間関係を深め、家庭や地域社会と連携を図る。

6 特別活動

望ましい集団活動を通して、児童生徒の一人一人の個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてのよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度の育成を図る

- ① 学校の特色を生かした全体計画と年間指導計画の作成に努める。
- ② 教師の適切な指導の下、児童生徒の自主的、実践的な活動が展開できるようにする。
- ③ 児童生徒が主体的に活動できる機会や場を設定し、集団への所属感や連帯感を深める中で、望ましい人間関係を形成するようにする。
- ④ 児童生徒一人一人のよさや可能性を伸ばすよう、実践活動及び実践に至るまでの過程を評価し、次の指導に生かすようにする。

7 学校教育相談

児童生徒が抱える悩みや不安などを解消するために本人又は保護者などの支援を通じて、よりよい人格の形成を図る

- ① 教育相談に関する校務分掌を工夫するなど、学校教育相談体制の充実を図る。
- ② 児童生徒理解に基づいた教育活動を積極的に推進する。
- ③ 児童生徒との日常の触れ合いを通じて、心情をより深く理解し、相互の信頼を深める中で、面談相談を効果的に実施する。
- ④ 相談内容や支援方法に応じて、専門的な指導・援助が得られるようスクールカウンセラーや相談機関との連携に努める。

8 体育

健やかな体と豊かな心をもった児童生徒を育成する

- ① 児童生徒一人一人に運動の楽しさや喜びを味わわせることのできる授業を実践する。
- ② 学校の教育活動全体を通じて計画的、継続的に指導するとともに運動しやすい環境の整備・充実に努める。
- ③ 安全教育と安全管理に学校全体で取り組み、児童生徒の健康・安全に関する態度を育てる。

9 健康教育

生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を主体的に実践できる児童 生徒を育成する

[学校保健]

- ① 健康の大切さを認識し、健康課題をよりよく解決するために、自ら考え、判断し、行動できる資質や能力を育てる。
- ② 家庭・地域社会・関係機関等との連携を図った保健教育の充実と保健管理の徹底に努める。

[学校安全]

- ① 自他の生命を尊重し、自ら安全な生活を営むとともに、他の人々の安全にも配慮し行動できる資質や能力を育てる。
- ② 家庭・地域社会・関係機関等との連携を図った安全教育の充実と安全管理の徹底に努める。

[学校における食育]

- ① 給食の時間を通して自らの健康管理ができる資質や能力と、豊かな人間性をはぐくむ基礎を培う。
- ② 食に関する全体計画や年間指導計画に位置付けをし、各教科等、学校の教育活動全体を通じて計画的、組織的に指導を行うよう努める。

10 人権教育


人権問題を正しく理解し、人権感覚を身に付け、様々な人権課題を解決しようとする児童生徒を育成する


- ① 学校の教育活動全体を通じて、児童生徒が人権問題の正しい理解を深めるように努める。
- ② 児童生徒や地域の実態に基づき、全体計画及び年間指導計画を作成し、実践に努める。
- ③ 児童生徒一人一人の人権意識の高揚を図り、人権への配慮を態度や行動に表せる人権感覚の育成に努める。
- ④ 関係機関との連携を図るとともに、家庭や地域の人々の理解と協力が得られるように努める。

11 特別支援教育

すべての学校において、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育を 推進する

- ① 特別支援教育全体計画を作成し、組織的な対応が可能な校内支援体制の整備・充実に努める。
- ② 教育的ニーズの把握を行い、特別支援学校等の助言・援助を活用するなど、関係機関と連携して適切な支援に努める。
- ③ 特別支援学級においては、個別の指導計画を作成し、各教科等を合わせた指導などの指導の形態について検討・工夫を行う。
- ④ ノーマライゼーションの理念に基づく教育の推進のために、一人一人の障害の状態等に即して交流及び共同学習を実施し、充実に努める。

学校名	上里町立神保原小学校				
所在地	上里町大字神保原町814番地				
電話	33-3074	FAX	33-9105		
校長名	金澤清久				
教頭名	島田悦子				
生徒数	295人	学級数	14学級	教職員数	
教育指導の重点					
教育目標	<p style="text-align: center;">○ 心豊かな子 ○ かしこい子 ○ 健康な子</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 知・徳・体のバランスのとれた心身ともにたくましい児童の育成 </div>				
経営方針	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学校教育目標の具現化を目指し、「生きる力をはぐくむ、活力ある学校」づくりに努める </div> <p>(1) 校風・伝統を継承し発展させる学校づくりの推進を通して、教育目標の具現化を図る。</p> <p>(2) 児童に存在感・自己有用感を味わわせる教育活動を推進する。</p> <p>(3) 児童一人一人に基礎的・基本的な学力や規律ある態度、体力を確実に身につけさせる。</p> <p>(4) 家庭・地域・関係機関との連携・協力を図り、信頼される学校づくりに努める。</p> <p>(5) 全職員が専門性や創意を發揮し、校務分掌の組織化・機能化に努める。</p> <p>(6) P・D・C・Aサイクルを生かし、教育活動の改善・向上に努める。</p> <p>〈目指す学校像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認め合う・助け合う・高め合う学校 ○保護者や地域の方から信頼される学校 ○教職員が専門性や創意を發揮する活力に満ちた学校 <p>〈目指す児童像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認め合う、助け合う、高め合う子 ○夢、希望をもち、元気に全力で取り組む子 <p>〈目指す教師像〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子供と共に歩み、夢を育む教師 ○家庭や地域の期待に応え、信頼される教師 ○誇りと自信にあふれ、心身ともに人間的魅力ある教師 				
本校の特色	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導やT・T、習熟度別指導を積極的に取り入れ、個に応じたきめ細かな指導を実践し、確かな学力の定着に努めている。 ○自然環境や地域の方々とのふれあいを重視した体験的な活動の充実に努めている。 ○あいさつ・返事・くつそろえの推進や、清掃活動の充実に努めることで、基本的な生活習慣の定着や豊かな心の育成に努めている。 ○朝の運動（チャレンジタイム）を通して体力の向上や健康の保持・増進に努めている。 				
研究課題	基礎的・基本的な知識・技能の習得				

学校名	上里町立賀美小学校													
所在地	上里町大字金久保862番地													
電 話	33-0026	FAX	33-0154											
校長名	島 村 和 広													
教頭名	大 石 田 博 道													
生徒数	227人	学級数	10学級	教職員数	16人									
教 育 指 導 の 重 点														
教育目標	<p>☆ 考える子 <自分で考え、進んで活動する子></p> <p>☆ やさしい子 <自分も他の人も大切に使う子></p> <p>☆ たくましい子 <健康に気をつけ、がんばりぬく子></p>													
経 営 方 針	かがやく みらいに													
	<p>「子どもが主役の学校」「安全で潤いのある学校」「地域に信頼される学校」をめざし、全教職員の共通理解を基本にして、学校経営に積極的に関わる姿勢と、責任ある参画によって、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和がとれた「生きる力」をもつ児童を育成する。</p> <p>学校像 ・安心、安全な学校 ~児童が安心して学べる、保護者が安心して子供を任せられる、 地域が安心して連携・協力できる学校~</p> <p>児童像 ・未来に夢を持ち、進んでチャレンジする子</p> <p>教師像 ・児童の良さを認め、伸ばし、育てる教師 ・3つのSを持った教師 S p i r i t — 気概 S m i l e — 笑顔 S p e e d — 心意気</p>													
本 校 の 特 色	<p>○ 生きる力と豊かな心を育てるために、児童、職員、家庭がそれぞれ宣言をしている。</p> <p>○ 自分の目標に向かって努力する態度を育てるために、「100の挑戦」を奨励している。</p> <p>○ 表現力を伸ばし、達成感を味わわせるために、「詩の暗唱」に取り組んでいる。</p> <p>○ 豊かな心を育てるために、保護者や地域の方々とふれあう体験活動を充実している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;"> <p>賀美っ子宣言5</p> <p>賀美っ子は</p> <p>☆ 元気にあいさつ・返事をします。</p> <p>☆ 目あてに向かって、がんばります。</p> <p>☆ だれにもやさしく、親切にします。</p> <p>☆ 進んで行動、きれいな学校にします。</p> <p>☆ 自分の体を鍛え、自分を大切にします。</p> </td> <td style="text-align: center; width: 50%;"> <p>家庭宣言5</p> <p>◇ 朝のあいさつ目を見て、「おはよう」</p> <p>◇ 毎日確認、「早寝、早起き、朝ご飯」</p> <p>◇ 親子で実践、「運動の日」「読書の日」</p> <p>◇ 親がお手本、「社会のマナー」</p> <p>◇ 「よさを発見」、認め・喜び・ほめる親</p> </td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;"> <p>賀美小職員宣言：1日の実践8</p> </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>1 児童に進んで明るくあいさつします。</p> <p>2 児童の声にきちんと耳を傾けます。</p> <p>3 すべての児童に「名前」で声をかけます。</p> <p>4 すべての児童に公平に接します。</p> </td> <td style="width: 50%;"> <p>5 授業の開始・終了をきちんと守ります。</p> <p>6 授業で一人ひとりが参加できる指導をします</p> <p>7 給食・清掃指導で健康な児童を育てます。</p> <p>8 環境を整え、児童の安全を守ります。</p> </td> </tr> </table>						<p>賀美っ子宣言5</p> <p>賀美っ子は</p> <p>☆ 元気にあいさつ・返事をします。</p> <p>☆ 目あてに向かって、がんばります。</p> <p>☆ だれにもやさしく、親切にします。</p> <p>☆ 進んで行動、きれいな学校にします。</p> <p>☆ 自分の体を鍛え、自分を大切にします。</p>	<p>家庭宣言5</p> <p>◇ 朝のあいさつ目を見て、「おはよう」</p> <p>◇ 毎日確認、「早寝、早起き、朝ご飯」</p> <p>◇ 親子で実践、「運動の日」「読書の日」</p> <p>◇ 親がお手本、「社会のマナー」</p> <p>◇ 「よさを発見」、認め・喜び・ほめる親</p>	<p>賀美小職員宣言：1日の実践8</p>				<p>1 児童に進んで明るくあいさつします。</p> <p>2 児童の声にきちんと耳を傾けます。</p> <p>3 すべての児童に「名前」で声をかけます。</p> <p>4 すべての児童に公平に接します。</p>	<p>5 授業の開始・終了をきちんと守ります。</p> <p>6 授業で一人ひとりが参加できる指導をします</p> <p>7 給食・清掃指導で健康な児童を育てます。</p> <p>8 環境を整え、児童の安全を守ります。</p>
<p>賀美っ子宣言5</p> <p>賀美っ子は</p> <p>☆ 元気にあいさつ・返事をします。</p> <p>☆ 目あてに向かって、がんばります。</p> <p>☆ だれにもやさしく、親切にします。</p> <p>☆ 進んで行動、きれいな学校にします。</p> <p>☆ 自分の体を鍛え、自分を大切にします。</p>	<p>家庭宣言5</p> <p>◇ 朝のあいさつ目を見て、「おはよう」</p> <p>◇ 毎日確認、「早寝、早起き、朝ご飯」</p> <p>◇ 親子で実践、「運動の日」「読書の日」</p> <p>◇ 親がお手本、「社会のマナー」</p> <p>◇ 「よさを発見」、認め・喜び・ほめる親</p>													
<p>賀美小職員宣言：1日の実践8</p>														
<p>1 児童に進んで明るくあいさつします。</p> <p>2 児童の声にきちんと耳を傾けます。</p> <p>3 すべての児童に「名前」で声をかけます。</p> <p>4 すべての児童に公平に接します。</p>	<p>5 授業の開始・終了をきちんと守ります。</p> <p>6 授業で一人ひとりが参加できる指導をします</p> <p>7 給食・清掃指導で健康な児童を育てます。</p> <p>8 環境を整え、児童の安全を守ります。</p>													
研究課題	<p>読解力を育てる国語科学習指導の研究</p> <p style="text-align: center;">— 言語活動の充実を通して —</p>													

学校名	上里町立長幡小学校					
所在地	上里町大字藤木戸145番地					
電話	33-0907	FAX	33-9288			
校長名	石川 優子					
教頭名	櫻井 映一					
生徒数	266人	学級数	13学級	教職員数	20人	


教育指導の重点

教育目標	○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○元気な子
------	-------------------------

経営方針	<p>上里町立長幡小学校の伝統と良き校風を築くため、教職員相互の信頼と英知を結集し、「知・徳・体」のバランスのとれた「よい子」の育成に取り組む。</p> <p>めざす学校像…「よく学び、よく遊ぶ、笑顔あふれる長幡小学校」</p> <p>(1) 元気な子供が育つ学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのよいあいさつ、規則正しい生活ができる学校 ・わかる授業を実践し、確かな学力を身に付ける学校 <p>(2) 楽しく安心・安全な学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりが成就感・存在感を実感できる学校 ・学習環境が美しく整備され、安心・安全な学校 <p>(3) 信頼される学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の子供を通わせたい学校 ・子供、保護者、地域の声に耳を傾け、誠実、迅速、親身になって対応する学校 <p>めざす教職員像…「子供の夢と笑顔を支え続ける教職員」</p> <p>(1) スマイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に笑顔で、「誠実」に対応できる教職員 ・やさしい言葉遣いと毅然とした態度ができる教職員 <p>(2) チャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子供のために」前向きに「改善」に取り組む教職員 ・「子供のために」保護者の思いに寄り添い「共有する」教職員 <p>(3) スペシャリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自らの指導力を高める努力を惜しまない教職員 ・報告一連絡一相談により迅速に対応できる教職員 <p>本年度の経営方針</p> <p>学校教育目標の実現をめざし、「知・徳・体」のバランスのとれた児童が育つ学校づくりを推進する。</p> <p>(1) 児童が「確かな学力」を身につける授業を実践し、社会生活の基礎基本が着実に定着するよう努める。</p> <p>(2) 教育環境を整備し、児童の学ぶ意欲の向上とともに健康・安全の保持に努める。</p> <p>(3) 教育者としての使命を自覚し、積極的に研修に取り組み、指導力向上に努める。</p> <p>(4) よさを認め励まし、明るく元気な子供が育つ学校づくりに努める。</p> <p>(5) 教職員一人ひとりがそれぞれの特性を生かし、積極的な経営参加に努める。</p> <p>(6) 学校応援団活動の充実により、家庭、地域社会との一層の連携に努める。</p> <p>行動指針 「相違・創意・総意（組織を生かし、組織で動く）」</p>
------	--

本校の特色	<p>○3～6年生の算数科での少人数指導や毎日10分間のアップ学習を実施し、児童一人一人に応じたきめ細かな指導を充実させ、確かな学力の定着を図っている。</p> <p>○地域の梨農家に協力いただき、梨の木（3本）を借り、全児童で剪定・受粉・摘果・収穫等の梨栽培活動に取り組み、勤労体験と思いやりの実践の場としている。</p> <p>○「長幡小の学習スタイル」「当たり前だけれど大切な5つのこと」「そうじのきまり」など、学校全体で児童の意欲を引き出す取組を推進している。</p> <p>○学校応援団の協力により、登下校の安全確保や学習支援、読み聞かせ等を行っている。</p>
-------	--

研究課題	国語科における言語活動の充実を図る指導法の改善
------	-------------------------

学校名	上里町立七本木小学校					
所在地	上里町大字七本木455番地					
電話	33-0544	FAX	33-9212			
校長名	荻原昌子					
教頭名	敷地昌明					
生徒数	395人	学級数	15学級	教職員数	27人	


教育指導の重点


教育目標	<p>○進んで学ぶ子</p> <p>○元気でたくましい子</p> <p>○おもいやりのある子</p>
経営方針	<p>児童、職員、保護者、地域の方々が充実感を得られる学校づくりの推進</p> <p>○目指す学校像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや職員が充実感をもてる学校 ・花や緑があふれる美しい学校 ・家庭、地域から信頼される学校 <p>○目指す児童像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分を認め、自分を大切にし、自分を愛する子 ・人の話を良く聞く子 <p>○目指す教師像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に対する強い情熱のある教師 ・教育の専門家としての確かな力量のある教師 ・総合的な人間力を持つ教師
本校の特色	<p>○「あいさつ・返事・くつそろえ・そうじ」を本気でがんばれる子の育成</p> <p>○学力向上への取組として、算数のティームティーチングと少人数指導</p> <p>○本とのふれあいの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月曜日から金曜日、朝の10分間読書により、様々な世界に触れ感動し世界を広げる ・ボランティアによる読み聞かせにより、読書意欲を育てる。 <p>○社会福祉施設との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人「梨花の里」「栄華の里」「ルピナス園」 ・児童養護施設「上里学園」
研究課題	<p>基礎・基本を身に付け、考える力をはぐくむ児童の育成 ～算数科を中心に、よりよい集団をつくれる児童の育成を通して～</p>

学校名	上里町立上里東小学校				
所在地	上里町大字七本木1573番地				
電話	33-1621	FAX	33-1021		
校長名	日向 哲郎				
教頭名	伊藤 壮一				
生徒数	683人	学級数	25学級		教職員数

教育指導の重点

教育 目標	<p>【かしこく】 (考える子) 《知》</p> <p>【なかよく】 (思いやりのある子) 《徳》</p> <p>【たくましく】 (がんばりぬく子) 《体》</p>
経 営 方 針	<p>めざす学校像</p> <p>(1) 元気な子どもが育つ学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのよいあいさつ、規則正しい生活ができる学校 ・わかる授業を実践し、確かな学力を身に付ける学校 <p>(2) 楽しく安全な学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりが成就感・存在感を実感できる学校 ・学習環境が美しく整備され、安心・安全な学校 <p>(3) 信頼される学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の子どもを通わせたい学校 ・子ども、保護者、地域の声に耳を傾け、誠実、迅速、親身になって対応する学校 <p>めざす教職員像</p> <p>(1) スピード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に子どもに目を向け、「迅速」な対応ができる教職員 ・報告―連絡―相談により、自らの役割を責任をもって遂行する教職員 <p>(2) スマイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に笑顔で、「誠実」に対応できる教職員 ・やさしい言葉遣いと毅然とした態度ができる教職員 <p>(3) チャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常を疑い、前向きに「改善」に取り組む教職員 ・自らの指導力を高める努力を惜しまない教職員 <p>本年度の経営方針</p> <p>学校教育目標の実現をめざし、「知・徳・体」のバランスのとれた児童が育つ学校づくりを推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教職員一人ひとりがそれぞれの特性を生かし、積極的な経営参加に努める。 (2) よさを認め励まし、明るく元気な子どもが育つ学校づくりに努める。 (3) 児童が「確かな学力」を身につける授業を実践し、社会生活の基礎基本が着実に定着するよう努める。 (4) 教育者としての使命を自覚し、積極的に研修に取り組み、指導力向上に努める。 (5) 教育環境を整備し、児童の学ぶ意欲の向上とともに健康・安全の保持に努める。 (6) 学校応援団活動の充実により、家庭、地域社会との一層の連携に努める。
本 校 の 特 色	<p>学力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○朝の時間に基礎・基本（漢字・計算・視写）の定着を図る時間（15分間）を設けている。 ○「家庭学習の手引き」を作成し、家庭と協力して自主学習に取り組ませている。 <p>基本的な生活習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ○落ち着いた生活態度が身に付くよう、全校で「無言ひざつき清掃」に取り組んでいる。 ○「上里東小 よい子のきまり」により、登校時から下校時までの生活・学習のルールの定着を図っている。 ○日本語学級を設置し、外国籍児童に対して一人一人に応じた支援を行なっている。 <p>地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校応援団の協力を得て、児童の登下校の安全確保、学校環境整備、学習支援の充実に努めている。
研 究 課 題	<p>心豊かにかしこく生きる東っ子の育成 ～算数的活動をとおして、考える力を身に付ける児童の育成を目指して～</p>

学校名	上里町立上里中学校			
住 所	上里町大字七本木 3 3 6			
電 話	3 3 - 2 9 7 4	F A X	3 3 - 6 8 8 1	
校長名	根岸 康雄			
教頭名	飯塚 久夫			
生徒数	5 6 3 人	学級数	1 8 学級	
教 育 指 導 の 重 点				
教育目標	<p style="text-align: center;">「かしこく、やさしく、たくましく」</p> <p style="text-align: center;">かしこく …自ら学ぶ生徒 やさしく …心豊かな生徒 たくましく…自ら鍛える生徒</p>			
経営方針	<p>全教職員が知恵を出し合い、学び合い、基礎的・基本的事柄を大切にし、生徒一人一人が主人公となれる学校づくりを推進し生きる力を育む。</p> <p>◎上里町「学びとふれあいの町」宣言を基盤とした教育を推進していく。</p> <p>○生徒一人一人の学びを保障し、希望と夢を育む教育を推進する。 ＜協同的な学びを通して＞</p> <p>○実践目標・上里中4つの基本や朝読書など、日常的な事柄を徹底・深化させ、感謝の気持ちを育成し、自信と誇りを育てる。 ＜実践目標＞ 時を守り 場を清め 礼を正す ＜上里中4つの基本＞ 明る^{まなびや}いあいさつ きれいな学舎 時間を守る 靴をそろえる</p> <p>○認め・ほめ・励まし・寄り添い、教職員と生徒、生徒相互の信頼関係を醸成する。</p> <p>○学びの場の基盤としての学級経営の充実を図る。</p> <p>○安全で安心して学べる教育環境を整備する。</p> <p>○取り組みを通して「自助・共助・公助」の力を育む。</p>			
本校の特色	<p>生徒一人一人の願いを実現させ、活気と笑顔あふれる学校とするために、能動的な「学び」や「活動」を通して学習や生活の基礎基本を身につけ、生徒の「夢や希望」「自信と誇り」を育みます。</p> <p>○「学び合い学習」（協同的な学び）への取り組み…生徒の尊厳・人格を大切にし、一人一人の学びを保障します。「きき合う関係」に基づく対話的コミュニケーションの実現をめざします。</p> <p>○「上里中4つの基本」への取り組み …「きれいな学舎」では、ひざつき清掃・気づき清掃に取り組み、感謝の気持ちの醸成や自己の心の成長を促します。</p>			
研究課題	<p>学習面・生活面における基礎・基本の確実な定着を図り、活用する力を育む。 ～「学び合い学習（協同的な学び）」と「上里中4つの基本」を柱として～</p>			

学校名	上里町立上里北中学校					
所在地	上里町大字金久保249番地					
電 話	3 3 - 7 7 4 9	F A X	3 3 - 7 7 4 8			
校長名	秋 山 欣 彦					
教頭名	桂 田 佳 郎					
生徒数	4 5 8 人	学級数	1 5 学級	教職員数	3 4 人	
教 育 指 導 の 重 点						
教育 目標	○かしこく 「よく考え、進んで学ぶ生徒」 ○やさしく 「思いやりのある生徒」 ○たくましく 「自ら心身を鍛える生徒」					
経 営 方 針	上里北中学校の歴史と良き校風を築き発展させるため、全職員が目標を共有し、組織の一員として自分の持てる力を発揮し、目標の実現に向かって行動する。 ◎本年度のミッション 学び合いを通して生徒に生きる力を育てる。 ○目指す学校像 「生徒に生きる力をはぐくみ、他校の模範となる学校」 (1) 学びたくなる学校 (2) 通わせたくなる学校 (3) 勤めたくなる学校 ○目指す生徒像 (1) よく考え、進んで学ぶ生徒 (2) 思いやりのある生徒 (3) 自ら心身を鍛える生徒 ○目指す教職員像 「同じ方向を向いて、力を合わせる」 (1) 生徒に、学ぶ楽しさ喜びを実感させることのできる教師 (2) 生徒に、愛情、安心、安全（3A）を感じさせる教職員 (3) いろいろなことに協力し、職員間のチームワークを大切にする教職員 (4) きれいな環境づくりに励む教職員					
本 校 の 特 色	○学力の向上 ・基礎的・基本的事項の確実な習得（検証テストの実施：計算テスト、漢字テスト、社会理科、英語） ・話し合いや発表などの言語活動の充実 ○豊かな心の育成 ・重点指導項目「時を守る・場を清める・礼を正す・思いやりの心」の徹底 ・福祉活動の充実 ○学びの場として環境作り ・清掃活動の充実、校内掲示や生徒作品の展示の充実 ○上里北中学校5つの伝統 1 あいさつ、返事、くつそろえ 2 生徒会が盛んで生徒が活躍する学校行事 3 授業に真剣に取り組む 4 部活動にしっかり取り組む 5 無言清掃、ひざつき清掃					
研究 課題	確かな学力の定着 －学び合いと言語活動の充実を通して－					

小中学校児童・生徒数の推移

(各年度5月1日現在)

学校名 年度	神保原小	賀美小	長幡小	七本木小	上里東小	計	上里中	上里北中	計	総計
昭和 60	550	324	345	582	696	2,497	744	478	1,222	3,719
61	495	309	336	569	729	2,438	825	510	1,335	3,773
62	453	308	322	551	712	2,346	879	505	1,384	3,730
63	429	299	321	497	696	2,242	912	494	1,406	3,648
平成 1	409	302	307	483	701	2,202	902	452	1,354	3,556
2	403	310	297	483	714	2,207	892	432	1,324	3,531
3	420	323	331	484	727	2,285	864	393	1,257	3,542
4	413	329	325	481	777	2,325	828	418	1,246	3,571
5	424	353	326	465	826	2,394	753	464	1,217	3,611
6	411	355	316	461	834	2,377	711	525	1,236	3,613
7	407	340	306	457	838	2,348	706	539	1,245	3,593
8	389	331	315	436	818	2,289	716	569	1,285	3,574
9	357	330	287	427	791	2,192	732	573	1,305	3,497
10	356	326	288	430	767	2,167	720	566	1,286	3,453
11	347	315	276	414	713	2,065	706	537	1,243	3,308
12	364	296	280	405	691	2,036	658	515	1,173	3,209
13	367	302	282	409	712	2,072	613	493	1,106	3,178
14	373	303	272	439	701	2,088	605	477	1,082	3,170
15	373	282	268	444	728	2,095	567	466	1,033	3,128
16	354	259	269	417	724	2,023	567	483	1,050	3,073
17	360	259	276	410	727	2,032	549	455	1,004	3,036
18	375	258	269	425	758	2,085	549	448	997	3,082
19	354	250	258	421	751	2,034	551	450	1,001	3,035
20	344	236	249	432	761	2,022	554	486	1,040	3,062
21	346	237	242	436	762	2,023	556	504	1,060	3,083
22	353	233	240	448	745	2,019	515	483	998	3,017
23	334	230	252	428	761	2,005	508	443	951	2,956
24	328	228	257	419	744	1,976	522	446	968	2,944
25	312	233	253	412	734	1,944	543	451	994	2,938
26	294	227	266	395	682	1,864	563	458	1,021	2,885

* 学校基本調査より

平成26年度小中学校学級編制一覽表

平成26年5月1日現在

学校名	区 分 項 目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特学	合計
		神保原小 教員数(20) 職員数(1)	児童数	37	36	52	48	63	55
	学級数	2	2	2	2	2	2	2	14
賀美小 教員数(16) 職員数(1)	児童数	32	41	34	39	29	43	9	227
	学級数	1	2	1	1	1	2	2	10
長幡小 教員数(19) 職員数(1)	児童数	44	39	47	51	44	36	5	266
	学級数	2	2	2	2	2	1	2	13
七本木小 教員数(28) 職員数(1)	児童数	64	59	64	56	69	67	16	395
	学級数	2	2	2	2	2	2	3	15
上里東小 教員数(40) 職員数(2)	児童数	95	116	101	126	100	121	23	682
	学級数	3	4	3	4	3	4	4	25
合計 教員数(123) 職員数(6)	児童数	272	291	298	320	305	322	56	1,864
	学級数	10	12	10	11	10	11	13	77

*学級数については、実編制数である。

上里中 教員数(35) 職員数(1)	児童数	185	183	180		15	563
	学級数	5	5	5		3	18
上里北中 教員数(28) 職員数(1)	児童数	154	143	152		9	458
	学級数	4	4	4		3	15
合計 教員数(63) 職員数(2)	児童数	339	326	332		24	1,021
	学級数	9	9	9		6	33

平成 26 年度小中学校教職員配置状況一覧

(平成 26 年 5 月 1 日現在)

区分 学校名	校 長 教 諭	栄 養 教 諭	養 護 教 諭	事 務 職 員	合 計
神保原小	19	0	1	1	21
賀美小	14	0	1	1	16
長幡小	18	0	1	1	20
七本木小	25	0	1	1	27
上里東小	35	1	1	2 (1)	39 (1)
上里中	33	0	1	1	35
上里北中	27	0	1	1	29
合 計	171	1	7	8 (1)	187 (1)

*職員調査表より
うち()は、町費負担分

学校建設事業

1. 趣旨

学校施設は、児童生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であり、児童生徒の「生きる力」を育むための教育環境として重要な意義を持つだけでなく、地震などの災害発生時には地域住民の応急避難場所としての役割を担うことから、その安全性の確保は特に重要です。

本町では、社会情勢や教育環境の変化等により、学校の建設や教育環境の整備、学校施設の安全性確保を最優先課題とした耐震補強工事、大規模改修工事など、時代に即した施設の整備を行ってきましたが、平成7年1月17日の阪神淡路大震災に続き、平成23年3月11日には東日本大震災が発生するなど、国を挙げて地震対策が急がれる中、町で実施した耐震2次診断等の調査結果を踏まえ、耐震化の必要のない賀美小学校、上里北中学校を除く小・中学校の耐震化を進めるため改修工事を実施しており、平成28年度の耐震化事業の完成を目指しております。

本町にある公立学校施設の多くは、昭和40年代から昭和50年代の児童生徒急増期に建築された施設が多いため、老朽化が進んでいます。今後は学校施設の改修・改築の需要が集中してくる中、学校施設の再生整備に取り組む必要があり、効果的に整備を進めることにより、児童生徒が安全・安心かつ良好な環境で学習活動が可能となるよう、老朽化した学校施設の再生整備やその推進方策について検討する必要があります。

2. 耐震化事業等の変遷

(1) 耐震化事業実績

平成16年	9月	神保原小学校校舎改修工事（耐震補強・トイレ改修）
平成18年	9月	七本木小学校校舎改修工事（耐震補強・トイレ改修）
平成21年	10月	上里東小学校校舎改修工事（耐震補強・トイレ改修）
平成23年	10月	長幡小学校校舎改修工事（耐震補強・トイレ改修）
平成25年	3月	神保原小学校体育館改修工事（耐震補強・大規模改造）
平成25年	3月	賀美小学校体育館改修工事（耐震補強・大規模改造）
平成26年	1月	長幡小学校体育館改修工事（耐震補強・大規模改造）
平成26年	1月	七本木小学校体育館改修工事（耐震補強・大規模改造）
平成25年	11月	上里中学校校舎棟改築・解体工事

(2) 耐震化事業（予定）

平成26年		上里中学校特別教室棟改築・解体工事（5月発注）
平成27年		上里中学校体育館の建て替え及び外溝工事（～平成28年度）

(3) 教育環境整備事業実績

平成26年	1月	神保原小学校・賀美小学校・長幡小学校・七本木小学校 ・上里東小学校・上里北中学校空調機設置工事
-------	----	--

学校施設・設備等一覧表

1. 校地・校舎

平成26年5月1日現在

学校名	児童生徒数 (人)	校 地 (㎡)			校舎延面積 (㎡)	開校年月日
		建物敷地	運動場	計		
神保原小	294	10,792	9,114	19,906	4,729	明治 19.4.26
賀 美 小	227	9,426	7,150	16,576	3,072	明治 6.9.2
長 幡 小	266	6,650	8,852	15,502	3,083	明治 6.9.10
七本木小	395	8,553	9,737	18,290	3,546	明治 6.3.8
上里東小	682	9,205	11,700	20,905	4,811	昭和 51.3.13
上 里 中	563	18,036	22,307	40,343	8,738	昭和 38.3.31
上里北中	458	12,354	16,965	29,319	4,734	昭和 58.4.1

2. 校舎・プール・体育館の建設日等

	校舎完成日	プール竣工日	体育館竣工日	体育館面積 (㎡)
神保原小	昭 47.4.7	昭 42.7.10	昭 47.4.13	689
賀 美 小	昭 53.3.7	昭 44.7.13	昭 48.3.30	577
長 幡 小	昭 53.8.25	昭 43.7.31	昭 48.7.10	609
七本木小	昭 51.4.1	昭 51.4.1	昭 51.4.1	689
上里東小	昭 51.4.1	昭 51.4.1	平 9.2.28	1,298
上 里 中	平 25.11.28	昭 41.7.10	昭 41.4.3	1,125
上里北中	昭 58.4.1	昭 59.6.21	昭 59.3.1	1,132

生涯学習

平成26年度上里町生涯学習の方針・施策

生涯学習とは

生涯学習とは、生活の向上や職業上の能力の向上、自分の価値観に従った生き方の実現を目指して、自発的な意志に基づき、生涯を通して学ぶことです。

そして、生涯学習は学校教育や社会教育及び家庭教育の中で意図的・組織的な学習活動として行われるだけでなく、スポーツ活動、文化活動、趣味、レクリエーション活動、ボランティア活動の中でも行われるものです。

したがって、小・中学校などの学校、公民館、図書館、体育館などの社会教育施設（以下、生涯学習施設という。）の講座・教室、事業所の研修、民間のカルチャースクールやスポーツクラブの講座などの組織的な学習だけでなく、私たちが生活の中で関心のある事柄を調べたり、ボランティア活動に参加したり、親子でスポーツを楽しんだりしながら、何かを学びとることも生涯学習につながるものです。このように、生涯学習は人々の生涯を通じて、多様な機会、方法により展開される学習活動全体を指すものと言えます。

生涯学習の意義

（1）生涯の各時期を生き生きと喜びとともに過ごす

高齢化や余暇時間の増大などを背景に、自由時間をいかに充実し、生きがいを持って過ごすかということに高い関心が寄せられています。

また、成長から成熟へと向かう時代の中で、経済的な豊かさを楽しむのではなく、精神的なゆとりや心の豊かさをもたらす活動を楽しむことが求められるようになりました。生涯学習には、学校や講座・教室に通う、同好者同士でスポーツや文化活動をする、レクリエーションを楽しむ、ボランティア活動に参加するなど、様々な領域、方法があります。

これらの中から、自分に合った機会を選び、関心を持っている事柄を選んだり、楽しんだりしながら知識や技能を高め、健康に過ごすことは、一人ひとりの心に充実感や豊かさをもたらし、生きる喜びに通じるものです。

（2）社会の変化に対応し、よりよく生きる

情報化、国際化や科学技術の高度化などにより、私たちの生活はより便利で、快適で、豊かなものとなりました。その反面、情報技術に習熟している人とそうでない人との格差の問題が象徴するように、常に新しい知識・技術を身につけていかないと、日常生活や職業生活で不便や不都合が生じるという面も見られるようになりました。

このような社会の変化に対応して生活していくためには、新しい知識や技術を身につけることが必要となっています。

（3）一人ひとりの向上により、社会全体の向上を図る

「人づくりはまちづくり」という表現に集約されるように、社会を構成する一人ひとりがモラルや知識、創造力や行動力を高めることで、社会全体の健全な発展がもたらされます。

特に近年は、地球環境問題、ノーマライゼーションや人権問題などに対する意識が高まっており、一人ひとりがこれらの問題を正しく理解し、行動していくことが必要となっています。

また、学んだ成果を生かして人々が地球社会に積極的に関わっていくことで、新しいコミュニケーションの形成や学習活動を通じた地域の活性化が進むことが期待され、住民主体のまちづくりを促す上でも生涯学習は重要となっています。

基本方針

町民の一人ひとりが、社会情勢の変化に対応し、生きがいのある充実した生活を送るためには、自ら学んでいくことが望まれる。

このため、生涯学習施設を整備したり充実したりすることは必須であり、望ましい地域社会の形成と生涯学習の観点から、自主的学習意欲を喚起し、生きがいを感じられるような生涯学習活動を支援する。

また、社会教育事業を適正かつ円滑に運営するためには、関係機関、団体との連携協力のもと、より充実した社会教育行政の推進を図り、町民の主体的、自主的な学習を助長するため、町民の自主的な学習活動の支援、町民の企画、運営による学習機会の創出を進めると共に、学習活動に必要な指導者の確保、充実した生涯学習関連情報の提供を進める。

主な施策

(1) 生涯学習施設の充実を図る

- ①地域交流の拠点としての地区公民館の充実を図る
- ②図書館・郷土資料館の充実を図る

(2) 地域活動の促進と学習機会の充実

- ①多様化、高度化する町民の学習要求に対応する社会教育活動の内容、方法の改善充実を図る
- ②学習情報システムの確立を図る
- ③中央・地区公民館の連携を図り、地域に根ざした住民参加の地域活動の活性化を図る
- ④町民の生涯学習活動の積極的参加を促進するため、広報活動を充実する
- ⑤社会教育指導者の養成と確保、資質の向上を図る
- ⑥自主活動グループの育成と活動の支援を推進する
- ⑦図書館活動の推進を図る

(3) 文化財の充実と文化活動の推進

- ①文化財の保護・活用及び調査を推進する
- ②文化財保護思想の普及を図る
- ③埋蔵文化財の保護と調査の充実を図る
- ④史跡の整備と活用を図る

(4) 町民の健康体力の増進と生涯スポーツの推進

- ①健康・体力づくり推進協議会の活動・事業の充実を図る
- ②専門スポーツ、レクリエーション活動の推進を図る
- ③青少年のスポーツ活動の育成と推進を図る
- ④各総合グラウンド、学校体育施設の開放促進を図る
- ⑤社会体育指導者の養成と充実を図る
- ⑥「こむぎっち体操」の普及活動を推進する

(5) 人権教育の優れた指導者養成と啓発活動の推進

- ①人権問題の正しい理解と認識を深めるため、指導者養成・研修と啓発事業を実施する
- ②人権教育の推進体制の整備と指導者の量的拡大と資質の向上を図る
- ③地区公民館を中核に捉えた啓発事業の充実を図る

(6) 地域ぐるみの青少年健全育成と家庭教育の充実

- ①青少年団体育成活動を推進する
- ②青少年の野外活動等学習機会の提供・充実を図る
- ③家庭・学校・地域・職場・行政の連携を図る
- ④青少年の社会参加活動を推進する
- ⑤地域ぐるみ健全育成運動の推進を図る

平成26年度上里町社会教育事業

I 生涯学習推進事業

1. 趣旨

人生80年代を迎えた今日、科学技術の急激な発展、高度化する情報、国際化等さまざまな社会変化が生じています。このような社会変化に伴い、町民の学習ニーズも多様化、高度化しており、高齢化、高学歴化などとあいまって、その傾向は今後一層顕著になるものと考えられます。

さらに、これからは社会の変化に対応して個人が時代に適応しうるよう、学習者を教育受益者としてではなく社会生活を営む上で、自己を確立し、自ら学ぶという思想を形成し、自立した個人としてとらえ、意欲と創意を引き出すことを主眼に人格形成を図る必要があります。

そのためには、上里町民として、国際化社会、情報化社会、高齢化社会に即応した学習や家庭生活、社会生活、地域活動等における多くの要求課題や必要課題に応じた学習を可能にする「いつでも、どこでも、だれでも」が学べる社会を創造し、町民がうるおいと生きがいを持ち、心豊かな充実した人生を送れるような学習社会の実現とまちづくりが求められており、その学習を援助していくために生涯学習推進体制の整備が行政の大きな課題となっています。

2. 生涯学習推進事業

平成3年12月の「上里町における生涯学習推進方法について」答申に基づき事業を推進する。

(1) 上里町こむぎっちカレンダーの作成

(2) 放課後子ども教室推進事業

子ども達が放課後や週末等に安全かつ安心して、異年齢で勉強や体験活動・スポーツ・文化活動を行える場所を整備すると共に、地域の方々の参画・支援を得て行う大人との交流をとおして、心豊かで元気な子どもを育成することを目的に実施します。

◎のびっ子教室（平日、放課後）

放課後の居場所を設け、宿題や読書、様々な遊びを通して異年齢での交流を進めます。

- ・上里東小学校・賀美小学校

◎ちゃれんじクラブ（土・日、長期休業日）

異年齢での様々な体験活動や地域住民との交流活動を進めます。

- ・米づくり体験教室（田植えから収穫祭 4回開催）
- ・小麦栽培体験教室（麦まきから収穫祭 5回開催）
- ・ホタルの観察（神保原地内）
- ・鮭の飼育・観察（孵化から放流 4回）
- ・親子料理教室（各小学校区）
- ・こむぎっち料理教室（地産小麦の全粒粉を使用した料理教室）
- ・食育学習（サツマイモの植え付けと収穫）
- ・工作教室
- ・俳句教室 他

◎わんぱく合宿塾（9月2日(火)～6日(土)の4泊5日）

子どもたちが親から離れて異年齢での共同生活を行うとともに、地域での様々な体験活動を進めます。

(3) 家庭教育の推進

◎親の学習

社会の急激な進展に伴い家庭の教育力の低下が指摘されております。国の調査によっても、約7割の親が家庭の教育力の低下を実感しており、しつけや子育てに自信がない家庭が増加し

ています。そこで、家庭の教育力を高めるため、子どもの発達段階に即した学習の機会を提供しています。

- ・ 幼児をもつ親の学習 各幼稚園、保育園
- ・ 就学時検診時の学習 各小学校
- ・ 6年生をもつ親の学習 各小学校

◎親となるための学習

近い将来親となる中学生を対象に、保育園での幼児との交流を通して子育て等の理解を図る「親となるための学習」に取り組みます。

- ・ 各中学校3年生 実習先 中央保育園 萌美保育園 安盛保育園

(4) 第61回成人式

成人の門出を町民全体で祝うとともに、二十歳になった皆さんが、成人としての様々な権利を持つと同時に、多くの責任や義務を負いながら、社会の重要なメンバーとして地域社会や町発展のため、積極的に行動していただくために実施します。

- ・ 日時 平成27年1月11日(日) 午前10時
- ・ 会場 ワープ上里

(5) 社会教育団体の育成

①上里町子ども会育成会連絡協議会

各小学校地区子ども会育成会(5団体) 単位子ども会育成会(42団体)

全町事業

- ・ 上里町子ども会育成会ジュニアリーダー研修会の開催 6月7日(土)～8日(日)
- ・ 第26回上里町子ども会なわとび大会の実施 11月 8日(土)
- ・ 第27回上里町子ども会郷土かるた大会の実施 1月17日(土)

②上里町婦人会(SALA上里)

SALA賀美、SALA七本木、SALA神保原の3団体で構成

- ・ ホームヘルパー取得資格の活用
- ・ 地域ボランティア活動の推進
- ・ 町行事等への協力

③上里町PTA連合会

各小学校(5団体)、各中学校(2団体)の単位PTAで組織されている。

- ・ 上里町PTA連合会情報交換会の実施 9月6日(土)
- ・ 上里町PTA連合会スポーツ交流大会の実施 11月 9日(日)

④上里町文化協会

(1) 団体育成

○ 上里町文化協会

自主的な活動を通じて、自己の教養の向上と、地域文化の発展に寄与することを目的とする。

- 加盟団体数
- ・ 展示部門 13団体
 - ・ 芸能部門 13団体
 - ・ 合計 26団体

(2) 文化事業

○ 上里町文化祭

町内で活動している文化団体や個人が参加し、日頃の学習の成果を披露することにより、町民の文化への関心と生涯学習の推進を図る。

- ・ 芸能発表会 平成26年11月23日(土) (ワープ上里)
- ・ 展示発表会 平成26年10月15日(水)～(役場町民ホール)

Ⅱ スポーツ振興事業

1 具体的方針

①生涯スポーツの普及・振興

健康で明るい生活を実現するため、町民総スポーツを提唱し、生涯にわたってスポーツが楽しめる基礎づくりの推進に努める。

②スポーツ団体の育成

生涯スポーツや競技スポーツの指導者育成と指導体制の確立に努めるとともに、各種スポーツ団体と連携を図りながら指導・育成に努める。

③スポーツ施設の整備充実と適正な管理運営

スポーツ施設の整備充実を図り、管理運営と有効活用の推進に努める。

2 主な施策

①運営の重点

ア 施設の整備・充実を図り、安全と町民サービスに努め、管理・運営の合理化を推進する。

イ 運動需要の増大にともない、施設利用の状況を把握し、町民に適切な情報を提供することにより、生涯スポーツの普及・振興を図る。

ウ 指導内容の充実と指導・助言に重点を置き、体育・スポーツの向上を図る。

エ 昨年度制作した健康体操の「こむぎっち体操」を広く町民に普及し、健康長寿及び体力向上を図る。

3 主な事業

- ・ 第46回町民体育祭の開催
- ・ 町民夏山ハイキング（尾瀬ヶ原）の開催
- ・ 第24回乾武マラソン大会の開催（町・教委・体協 共催）
- ・ 各種スポーツ教室の開催
- ・ スポーツ振興のための後援事業
- ・ 各種スポーツイベントの情報提供
- ・ スポーツについての調査研究及び情報事業
- ・ スポーツ施設等の管理運営と有効活用の推進
- ・ 賠償責任保険の確立
- ・ 第20回地域親善スポーツ大会（ソフトバレーボール）（健体・教委 共催）
- ・ 第28回地域スポーツ親善大会（インディアカ）（健体・教委 共催）
- ・ 第40回歩け歩け運動（健体・教委 共催）
- ・ 第40回町民ハイキング（健体・教委 共催）
- ・ 第37回元旦歩け走ろう会（健体・教委 共催）
- ・ 第18回スポーツ少年団交流大会（スポ少・教委 共催）
- ・ 第18回上里町レクリエーションフェスティバル（レク協・教委 共催）
- ・ 「こむぎっち体操」の普及活動

上里町人権教育指導方針

基本方針

上里町教育委員会は、日本国憲法、教育基本法、人権教育及び人権啓発の推進に関する法律及び上里町民憲章、学びとふれあいの町宣言により、学びをとおして自己を高め、個人の尊重を重んじ、合理的精神を養い、教育活動を通じ偏見や不合理な差別をなくすための指導の徹底をはかり、人権問題の根本的解決をはかる。

そこで、社会教育活動の全分野に人権教育を位置づけ、あらゆる場所を通して組織的に学習機会を提供し、人権教育を推進する。

(1) 具体的方針（社会教育）

- ①人権問題に深い理解と関心と認識をもち、人権教育の推進力となる指導者の養成を図る。
- ②社会教育関係団体指導者の指導力を強化するとともに、地域における活動の場において人権教育の積極的推進を図る。
- ③地域においては、多様な学習機会を通して、学習意欲を高め、人権問題を直感的にとらえる感性や、日常生活において態度や行動に現れるような、心豊かな人権感覚を育成する。
- ④生涯学習課・公民館等における青少年、成人、女性、高齢者を対象とする生涯学習の諸事業において、人権問題解決のための内容を積極的に取り入れる。
- ⑤関係機関、関係団体との連絡を密にし、人権教育を正しく方向づけ、総合的な推進に努める。

(2) 人権教育推進事業

① 明るい地域づくり推進委員会

各地区公民館に委員会を設置

- ・ 公民館事業と連携して、明るい地域づくり推進事業を推進
- ・ 第3回明るい地域づくり講演会を開催

日時 平成27年 2月27日（金） 午後7時

会場 ワープ上里

内容 ・講演会 他

② 第3回人権講演会

日時 平成26年11月15日（土） 午後1時

会場 ワープ上里

内容 ・人権作文の発表 ・講演会

(3) 平成26年度人権サポーター養成講座

期 日 10月～2月 6講座

時 間 午後1時30分～3時30分

会 場 上里町役場「大会議室」 他

参加者 社会教育関係団体、学校、区長会、企業、一般等

(4) 団体別人権教育研修

期 日 10月～2月 7会場

参加者 各小・中学校区PTA・子ども会育成会

(5) 人権を大切にする会（昭和62年5月4日発足）

人権教育指導者養成講座修了者が自主的に組織している。（会員数164名）

- ・人権講演会の開催
- ・会員視察研修会の実施

公 民 館

1 公民館の運営方針

上里町では、平成 25 年 4 月に教育宣言「学びとふれあいの町宣言」をいたしました。公民館では、その趣旨に基づき、生涯学習時代にふさわしい魅力ある、そして、活力ある学級・講座を開設し、地域の特性を生かした人づくり・地域づくりを推進します。

そこで、住民への学習機会の提供と学習意欲の喚起するための情報提供など学習しやすい体制づくりと各種の条件整備を図り生涯学習の拠点にふさわしい柔軟な運営を進めていきます。

本町では中央公民館と地区公民館が連携を密にしながら地域に根ざした特色ある公民館活動を目指します。

- ① 地域づくりの拠点として、公民館と利用団体が相互に連携し、交流の場を広げ、充実した生活及び住みよい社会の実現を目指します。
- ② 公民館の機能を十分発揮し、生涯学習の推進、明るい地域づくりの推進、青少年育成活動の推進を目指します。

2. 地区公民館運営 4 原則

- ① 地域中心の原則
地区公民館は、地域住民の学習と交流の拠点である。
- ② 並立配置の原則
地域の規模や特徴は異なっても、地区公民館は各地区に対等に配置され、それぞれの活動が等しく尊重される。
- ③ 住民参加の原則
公民館事業の企画運営は地域住民によって組織された委員会や自発的な住民の意思に基づいて行なわれることが大切である。
- ④ 自立の原則
公民館は教育委員会に属する社会教育施設であるが、住民の意思による企画運営についてはできる限り尊重する。

3. 公民館努力目標

- (1) だれもが気軽に利用できる公民館運営に努める。
- (2) 生涯学習と交流の場の提供と明るい地域づくりの推進を図る。
- (3) 社会教育諸団体・諸機関との連携を密にして、自助・共助の意識を養う。
- (4) 社会教育機関としての施設整備の充実と職員・指導者の確保を図る。

4. 公民館の開放（貸館業務）

- 開館日
毎日午前 8 時 30 分から午後 10 時とする。
ただし、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）を除く。

5. 情報提供と活用

- 町広報誌・ホームページに事業等を掲載。
- 公民館だよりを発刊。公民館協力委員（行政区長）による行事回覧。
- 掲示板活用による情報伝達。
- 公民館活動推進員による住民との連絡体制の確立。

6. 主な施策

- ① 主催事業・サルビア学級・せせらぎ大学の講座内容の充実及び実生活に即した系統的学習の促進。
- ② 芸術・文化・レクリエーション活動の助長
- ③ サークル、団体の育成と指導者の養成
- ④ 利用団体との連携及び自主団体活動の推進
- ⑤ 資料の収集と学習情報の提供
- ⑥ 教育機器と事務機器の整備充実
- ⑦ 明るい地域づくりの推進
- ⑧ 青少年健全育成活動の推進
- ⑨ 公民館活動推進員及び公民館協力委員との連絡調整

* 公民館活動推進員及び公民館協力委員の仕事

(1) 公民館活動推進員

- ① 公民館事業への参画
- ② 地域での各種団体活動の推進に協力する。
- ③ 町の社会教育行事の地域における推進と協力をする。
- ④ 明るい地域づくり推進委員会に参画し、当事業を推進する。

(2) 公民館協力委員（各行政区長）

- ① 行政区の正副区長を公民館協力委員に委嘱し、公民館活動に対する地域住民の理解を深め、その活動に協力する。
- ② 公民館活動に対する地域住民の要望をまとめ、各地区公民館長と連絡・調整を図る。

7. 公民館活動計画

○ 公民館の行事・事業・学級

① 行事

ア. 各地区「公民館まつり」

まつりをとおして公民館の事業内容を知っていただくとともに、児童館や男女共同参画推進センターと共催で地域の人々の心のふれあいと活性化を図る。

10月 5日(日)	賀美・長幡・七本木	各公民館開催
10月19日(日)	上里東・神保原	各公民館開催

イ. 文化祭

上里町文化協会が主体となり、公民館利用団体、各種団体、個人が参加しそれぞれの文化活動を発表する。

○ 芸能発表の部

- ・期日 11月23日(日)
- ・会場 ワープ上里

○ 展示発表の部

- ・期日 10月15日(水)～11月30日(日) 団体ごとに展示(予定)
- ・会場 町民ホール

②事業

ア. 明るい地域づくり推進事業

地区公民館事業、各種学級、教室、各利用団体活動の中に当事業を組み入れる。

- 明るい地域づくり推進委員会の開催(8月)全館合同
- 明るい地域づくり講演会の開催(2月)全館合同

イ. 中央公民館事業

- 蛍の観察教室(7月に実施)町内全小学生対象
- 鮭の飼育観察(全4回・11月～2月に実施)町内全小学生対象
- 学びとふれあい教室
 - いぶし焼き教室(計5回)
 - 上里の歴史教室(計5回) 予定

ウ. 地区公民館事業

地区公民館は、地域の中に存在する様々な問題や課題を地域の仲間と共に学び、学習をとおして豊かで住みよい地域社会、心豊かなふるさとづくりを推進するため、次の学級・講座を開設する。

○地区公民館学級

学級名	所 属	内 容	対象	回数
サルビア学級	賀美公民館	男性と女性が力を合わせ、豊かな家庭や住み良い地域社会を実現させることを目的とし、年間を通して開設する学級。	各地区 在住在 勤の男 女	6～9
	長幡公民館			
	七本木公民館			
	上里東公民館			
	神保原公民館			
せせらぎ大学	賀美公民館	高齢者が健康で生きがいのある生活を目指し、趣味、教養、レクリエーション等に関する学習を行う。	高齢者	5～10
	長幡公民館			
	七本木公民館			
	上里東公民館			
	神保原公民館			

○地区公民館主催事業

賀美公民館	管外研修「湯の丸高原」 救急講座「AED」 子ども「工作教室」 子ども「俳句教室」 園芸教室 公民館・児童館まつり もちつき大会 しめ縄づくり
長幡公民館	管外研修「ハイキング」 夏休み子ども教室「絵てがみを書こう」 健康講座「口腔対策」 公民館・児童館まつり そば打ち教室 もちつき大会 親子料理教室「アンパンマンずし」 音楽鑑賞講座
七本木公民館	食育学習「さつま芋栽培」 男の料理教室 子ども事業「シャボン玉ほか」 管外研修「県南方面」 どんど焼きまつり 味噌作り教室 ヨモギ餅つき
上里東公民館	安全講話「自転車・詐欺」 歴史講座「七本木地名と方言」 夏休み子ども教室「けん玉」 管外研修「羽田飛行場」 工芸教室「カッター切り絵」 教養講座「天体観測」 子どももちつき大会 講演と音楽鑑賞
神保原公民館	管外研修「富士山・忍野八海」 マグネット吹矢大会 ほたるの鑑賞の夕べ 理科教室 神保原音頭ほか練習会 公民館・児童館まつり ソバ打ち教室 もちつき大会 しめ縄づくり

○学びとふれあい教室（学びとふれあいの町宣言に伴う継続事業）

賀美公民館	クラフトバッグを作ろう！！（全5回）	6月～7月
長幡公民館	陶芸教室（全5回）	6月～8月
七本木公民館	未定	
上里東公民館	木目込みで“まり”づくり（全4回）	6月～8月
	ネックウォーマーとミトンづくり	9月
神保原公民館	台湾組みひも（全5回）	8月～9月

図 書 館

図書館では、図書資料などを広く収集して、町民の求める資料の充実に力を入れるとともに、日々の暮らしの中での読書や調べごとの支援をする「暮らしに役立つ図書館」となるように努めている。

また、図書館は平成26年4月より指定管理者による管理・運営となり、住民サービスのさらなる向上を目指している。

(1) 主要業務

- 資料（図書・雑誌等）の選定・購入
- 図書館用郷土資料の収集
- 資料（図書・雑誌等）の貸出業務
- 調査相談業務
- 各種事業の実施

(2) 主要事業

- 館報「ときめき」（年4回）、こどもとしょかんだより「やんちゃ」（月1回）の発行
- 広報「かみさと」に図書館・郷土資料館だより（毎月掲載）
- 子どもシアター（月1回第2土曜日）
- くまさんのポケット（月2回第2・第4水曜日）
- 季節に合わせた児童向け「おたのしみ会」の開催（年3回）
- 科学あそび（年1回）
- 図書館探検（年1回）
- ブックスタート事業（7・8ヶ月児対象、月1回保健センターで実施）
- 学校訪問（小学校へ出向き、読み聞かせや本の紹介等を実施）
- 団体貸出（小・中学校にクラス単位で図書の貸出を実施）
- 読書会の育成（連絡協議会…平成9年12月発足）
「ひふみの会」（月1回）、「源氏物語を読む会」（月2回）、「俳句クラブ」（月1回）、「古文書クラブ」（月1回）が活動
- 図書館のホームページの運用（平成13年7月3日より）
- 児玉郡市内及びその他の広域利用の実施（平成11年度から開始、平成18年度から深谷市参加、平成20年8月から隣接する高崎市、伊勢崎市、藤岡市、玉村町の住民にも利用者カードの交付開始）
- 埼玉県ISBN総合目録事業に参加
- 国立国会図書館総合目録ネットワーク事業に参加

(3) 資料数等（平成26年3月末日現在）

- 図書 113,639冊（一般書76,626冊、児童書37,013冊）、雑誌 73タイトル、視聴覚資料 2,303点、新聞 8紙（一般紙…6紙、スポーツ紙…1紙、小学生新聞…1紙）

郷土資料館

神流川扇状地に広がる上里町は、恵まれた自然環境の中で、原始・古代から数多くの人々が暮らしてきた。その痕跡は発掘調査などによってしだいにあきらかになりつつある。こうした先人達が残してくれた貴重な文化遺産を受け継ぎながら現在の上里町は人と自然が響きあう「ハーモニーガーデン上里」の合言葉の中で日々大きくその姿を変えている。

郷土資料館では、生活環境や習慣の変化に伴い変わりつつある民俗儀礼や民具などの調査・研究・保存や、各種の開発に伴い発見される埋蔵文化財の保護にとりくんでいる。

また、こうした有形・無形の貴重な文化遺産を活用することによって、「ふるさと」を知り豊かな民情を育てよう努めている。

1 文化財保護推進事業

①指定文化財の保護と管理

町内には、史跡4ヶ所、天然記念物5点を含む有形文化財42件と三町諏訪神社獅子舞などの無形民俗文化財7件が町の文化財として指定されている。こうした指定文化財の周知を進め、郷土学習などの時間を利用して活用を図る。

②埋蔵文化財の保護・活用

町内には、約150ヶ所の埋蔵文化財包蔵地が確認されている。この包蔵地内の各種開発行為に伴い埋蔵文化財の所在確認のための調査を実施する。また、町内で発掘調査された遺跡の調査報告書を刊行する。

③出土文化財管理センターと民俗資料収蔵庫の活用

出土文化財管理センターは埋蔵文化財の収蔵・管理施設であり、出土品の復元作業の見学や直接ふれることのできる公開施設でもある。

民俗資料収蔵庫は町内から収集した農具や民具などが保管されている。こうした施設は資料館とともに郷土の文化財に対する保護・調査・研究・普及・啓発の拠点として活用し、さらに、小・中学校を対象として郷土学習・体験学習などを行える施設としての充実を図る。

④町内に点在する歴史遺産や文化財の活用を図る。

「ほんたま広域観光開花事業」や公民館と連携して「文化財めぐり」などを開催して郷土の文化財の周知を進めるとともに、郷土の文化財の活用を図る。

⑤古文書・行政資料などの保存・活用を図る。

町内から収集した古文書や公文書などの行政資料を今後の郷土資料や郷土学習の資料として利用・活用できるように補修・整理・分類・保管などの業務を推進する。

2 郷土資料館運営事業

郷土である上里町に関連した歴史・民俗資料などの収集・保管・調査および研究を行い、これらの資料の活用を図り、教育・学術および文化の発展に寄与することを目指す。

① 設展示

「母なる川 神流川 この大地に営まれた先人達の生活をたどる」を基本テーマとして、上里町の原始・古代から現代までの歴史資料や民俗資料を通史的にわかりやすく展示・解説を行っている。

1) 原始・古代コーナー

遺跡から発掘調査により発見された古墳や住居址の出土品の内、特に各時代の特徴を示す土器・石器・埴輪などを展示・解説をしている。

2) 中世コーナー

板碑や五輪塔・宝篋印塔などの石造物や大御堂の吉祥院周辺で出土した古瀬戸の壺を利用した蔵骨器などの中世遺物を展示・解説している。

3) 近世コーナー

江戸時代に烏川・利根川を利用した水運を支えた八町河岸と藤ノ木河岸における物資運送の貴重な古文書などを展示・解説している。

4) 近代・現代コーナー

明治以降の高崎線敷設に関連した資料や、戦時中の児玉飛行場に関連した資料などを展示・解説している。

5) 民俗資料コーナー

近年まで使われていた農具や生活道具などを展示・解説している。

②特別展示

上里町に関連した資料を活用して、展示・解説を行っている。

③講座・見学会・体験学習

生涯学習や小・中学校による郷土学習や総合的学習との関連授業を推進するために郷土に関連した資料の提供や火起こしや土器・石器にふれる体験学習、施設見学会などの充実を図る。

④文化財の啓蒙普及

郷土資料館で実施している郷土資料の調査・研究の成果をより多くの方々に提供するために「郷土資料館研究紀要」第13号の刊行を行う。また、広報や図書館・郷土資料館だよりを活用して文化財の啓蒙普及を図る。

⑤博物館学芸員実習生の受け入れ

町内在住・出身の大学生を博物館実務実習生として受け入れる。

上里町指定文化財一覧表

No.	指定-種類	名 称	所有者（管理者）	概 要	指定年月日
1	県-有・絵	武田信玄夫妻画像	陽雲寺	寛文9年（1669）、狩野元俊筆。絹本着色。武田信玄と陽雲院が描かれている。	1968・3・29
2	県-有・工	銅鐘	陽雲寺	元禄8年（1695）佐野の鋳物師井上元峰が鋳造。縦帯の中央に仏像が陽鑄されている。	1964・3・27
3	県-有・古	中世文書7点	陽雲寺	武田信玄直筆の起請文等、寺ゆかりの中世文書が伝来されている。	1968・3・29
4	県-記・旧	金窪館跡 （県旧跡）	個人蔵	治承年間（1177～80）に築城され、新田義貞や畑時能の居城とされる。	1935・3・31 指定替 1962・10・1
5	県-記・旧	畑時能供養祠 （県旧跡）	陽雲寺	時能は秩父出身の武将で、新田義貞に仕え延元4年（1339）没、従臣児玉光信が首級を陽雲寺に持ち帰って供養した。	1935・3・31 指定替 1963・8・27
6	町-有・工	三条実美公野剣	陽雲寺	陽雲院の実家三条家から陽雲寺に寄贈された刀。周防国永弘の銘と高橋泥舟の箱書が残されている。	1962・2・22
7	町-有・彫	古銅正観音立像	陽雲寺	武田家伝来、陽雲院の遺品。武田家の祖源義光の守り本尊と伝えられている。	1962・2・22
8	町-有・彫	釈迦如来座像	陽雲寺	武田家伝来、陽雲院の遺品。源頼義の守り本尊と伝えられている。	1962・2・22
9	町-記・史	陽雲院之墓	陽雲寺	元和4年（1618）97歳で没した陽雲院の墓。	1962・2・22
10	町-有・歴	見透灯籠	大光寺	文化12年（1815）本庄の戸谷半兵衛が「神流川の渡し」を夜半に渡る人のために寄贈した。	1962・2・22
11	町-有・考	親子地蔵	大光寺	表裏両面に地蔵が刻まれている板碑で勅使河原直重親子の墓と伝えられている。	1962・2・22
12	町-有・歴	石幢	大光寺	永正6年（1509）の銘があり、六面に地蔵が刻まれている。	1962・2・22
13	町-有・建	勅使門	大光寺	建保3年（1215）の寺創建時より数度の改築をへて現在に伝えられている。	1974・2・22
14	町-有・考	埴輪頭部	上里町	神流川・烏川の合流点の毘沙吐から出土したと伝えられている。	1962・2・22
15	町-有・絵	十二天古画	上里町	紙本、1幅に6体が描かれた対幅の十二天古画である。	1962・2・22
16	町-有・絵	阿弥陀三尊古画	上里町	絹本着色、阿弥陀三尊来迎図。	1962・2・22
17	町-有・工	赤羽刀一括	上里町	国から寄贈された6本の接收刀	2001・9・25

No.	指定・種類	名 称	所有者（管理者）	概 要	指定年月日
18	町-有・歴	天海僧正御墨付	大字黛	寛永 19 年（1642）3 月 28 日付東叡山直末許状。	1962・2・22
19	町-有・彫	正観音立像	大字黛	金箔玉眼嵌入の寄木造り。恵心僧都の作と伝えられている。	1962・2・22
20	町-有・歴	文禄 4 年水帳	個人蔵	文禄 4 年（1595）武州賀美郡鉢形筋金窪之内黛村の検知帳。	1962・2・22
21	町-有・考	石棒	個人蔵	縄文時代の石棒で、ご神体として祀られていた。	1962・2・22
22	町-有・古	徳川家康皆済状	個人蔵	慶長 11 年（1606）代官長谷川長次へ宛てた書状。	1987・10・29
23	町-有・彫	阿弥陀如来座像	吉祥院	金漆箔彫眼の寄木造り。町最大の木造仏である。	1962・2・22
24	町-記・史	帯刀先生義賢之墓	福昌寺	久寿 2 年（1155）大蔵合戦で敗れて没した源為義の次男義賢の墓	1962・2・22
25	町-有・考	古瓦	個人蔵	奈良時代の五明廃寺の瓦。	1962・2・22
26	町-記・史	五輪塔	真福寺	天文 15 年（1546）に建立された僧都円宗の逆修塔。	1962・2・22
27	町-有・古	高泉禅師筆薬師写経	興国寺	高泉禅師による紺地金泥の薬師如来写経。	1962・2・22
28	町-有・絵	天神古画	西福寺	絹本着色、菅原道真の図。	1962・2・22
29	町-有・絵	十五仏古画	西福寺	中央上部に多宝塔を描き、その下に 3 体の仏を 5 段に描いている。	1962・2・22
30	町-有・考	板碑	西福寺	弘長 4 年（1265）銘、阿弥陀三尊の梵字が刻まれている。	1962・2・22
31	町-有・彫	釈迦如来座像	休安寺	宝暦 13 年（1736）鑄江戸神田多川民武の銘がある。	1962・2・22
32	町-有・彫	薬師如来座像	石蔵寺	慶長 10 年（1605）の墨書がある。	1962・2・22
33	町-有・彫	勝軍地藏	安盛寺	木造漆箔朱色玉眼嵌入。	1962・2・22
34	町-有・絵	不動明王古画	善台寺	絹本着色、中央に不動明王を配し、その脇に矜羯羅(コガウ)・制托迦(セツカ)の二童子を描いている。	1962・2・22
35	町-有・考	石棒	石神社	全長 140 ㍍の石棒で、ご神体として祀られている。	1962・2・22
36	町-有・考	浅間山古墳	石神社	直径 38m、角閃石安山岩を使用した横穴式石室が発見されている。	1962・2・22
37	町-記・史	神流川古戦場		天正 10 年（1582）神流川でおこなわれた北条と滝川の合戦の跡。	1962・2・22
38	町-記・天	楊枝魚		トゲンバヨと呼ばれた伝説の魚。	1962・2・22
39	町-記・天	柿の木	石神社	地名の由来となった柿の古木	1974・2・22

No.	指定・種類	名 称	所有者（管理者）	概 要	指定年月日
40	町-記・天	ひいらぎの大木	個人蔵	樹齢 450 年の大木。	1974・2・22
41	町-記・天	槇の木	宝蔵寺	樹齢 800 年の高野槇。戦時中児玉飛行場を発着する飛行機に支障があったため先端部が切り落とされている。	1962・2・22
42	町-記・天	忍保の松	個人蔵	樹齢不明、10m以上の枝張を持つ。	1962・2・22
43	町-無・民	忍保神楽	金鑽神楽忍保組	池上神社に伝わる金鑽神楽。	1962・2・22
44	町-無・民	黛音頭	黛音頭保存会	樽や笛などの鳴り物と音頭取り・踊り子による八木節系の音頭。	1962・2・22
45	町-無・民	東音頭	長幡東音頭保存会	五明の安藤改助が創始した、上里発祥の音頭。	1962・2・22
46	町-無・民	諏訪神社獅子舞	三町諏訪神社獅子舞保存会	貞享 2 年（1685）銘の獅子頭が残されている。3 頭立の獅子舞。	1962・2・22
47	町-無・民	丹生神社獅子舞	丹生神社獅子舞保存会	社殿が神流川の洪水で流され、現在の地に移された頃に奉納されたと伝えられている。	1962・2・22
48	町-無・民	金久保神社獅子舞	金久保神社獅子舞保存会	秋の大祭で奉納され、水不足の時にも演じられるため、雨乞い獅子とも呼ばれている。	1962・2・22
49	町-無・民	七本木神社獅子舞	本郷獅子舞保存会	夏の祇園大祭で疫病退散・無病息災などを祈願して奉納される。	1976・11・3

県（県指定文化財）・町（町指定文化財）

有（有形文化財）- 絵（絵画）・工（工芸品）・建（建築物）・彫（彫刻）・古（古文書）・考（考古資料）
 歴（歴史資料）・記（記念物）・天（天然記念物）・史（史跡）

無（無形文化財）- 民（民俗文化財）

県選定重要遺跡

No.	指定・種類	名 称	所有者（管理者）	概 要	指定年月日
1	県-重要遺跡	帯刀古墳群		帯刀地区に存在する古墳群で現在 20 基以上が確認できる。	1976・10・1
2	県-重要遺跡	五明廃寺		五明に造られた奈良時代の寺院跡。	1976・10・1

生涯学習関連施設

【公民館】

番号	名 称		施設の概要
	所在地・電話番号		
1	中央公民館		講堂、会議室 A・B・C、実習室、和室、陶芸棟
	七本木 5591	☎33-8628	
2	賀美公民館		共同給食室、集会室 A・B、読書室、保健相談室、研修室(和室)
	金久保 693-1	☎34-1724	
3	長幡公民館		研修室、会議室(大・中・小)、料理講習室、相談室(和室)
	長浜 1008-1	☎34-1725	
4	七本木公民館		娯楽室、大会議室、和室、料理講習室、相談室、茶道室
	七本木 3227-2	☎34-1726	
5	上里東公民館		ロビー、会議室、ふるさと実習室、ふるさと学習室、和室
	七本木 1791-1	☎34-1041	
6	神保原公民館		ふれあいホール、小会議室、和室、ロビー
	神保原町 1393	☎34-1727	

【図書館】

番号	名 称		施設の概要
	所在地・電話番号		
1	図書館		一般フロアー、児童フロアー、視聴覚室、会議室、参考資料室、AVブース
	七本木 67	☎34-0455	

【郷土資料館】

番号	名 称		施設の概要
	所在地・電話番号		
1	郷土資料館		常設展示室、企画展示室
	七本木 67	☎34-0455	
2	出土文化財管理センター		作業室、保管室、見学施設
	七本木 67	☎33-2682	
3	民俗収蔵庫		民俗収蔵庫
	七本木 5619	☎33-2682	

【体育施設】

番号	名 称		施設の概要
	所在地・電話番号		
1	町民体育館		バスケットボールコート2面、バドミントンコート7面 バレーボールコート3面、会議室、更衣室
	七本木 3202-2	☎33-7655	
2	多目的スポーツホール		アリーナ(625㎡)、ステージ、会議室、更衣室
	七本木 3202-2	☎33-7655	
3	忍保パブリック公園		野球コート4面、ソフトボールコート2面、グランドゴルフ場(16ホール)、アスレチック
	忍保地内 烏川右岸	—	
4	宮多目的広場サッカー場		サッカーコート1面、グランド1面
	長浜地内 神流川右岸	—	
5	長久保公園テニス場		テニスコート4面(オムニ・ナイター可)
	大御堂 1450-2	—	
6	児玉工業団地遊水池グランド		グランド1面
	嘉美 1600-34	—	
7	堤調節池運動公園グランド		グランド1面
	堤 751-1 先	—	

【学校開放施設】

番号	名 称		施設の概要
	所在地・電話番号		
1	町内小・中学校校庭及び体育館		上里中学校のみナイター施設あり * 上里北中は校庭開放なし

特別職等の名簿

◎教育委員

平成26年4月1日現在

役職名	氏名	備考
委員長	安藤 寛和	
委員長職務代理者	保坂 真哉	
委員	川浦 計男	
委員	清 昌道	
教育長	下山 彰夫	

◎社会教育委員

平成26年4月1日～28年3月31日

No.	選出区分	氏名	備考
1	学校長	根岸 康雄	
2	文化協会	浅見 勲	
3	体育協会	丸山 和也	
4	SALA神保原	矢澤 征子	
5	老人クラブ連合会	金井 昭平	
6	PTA連合会	大拙 義郎	
7	子ども会育成会	岩田 知之	
8	人権を大切にする会	畑中 幸枝	
9	健康・体力づくり 推進協議会	花房 一十郎	
10	スポーツ少年団	高橋 仁	◎
11	レクリエーション協会	齋木 はな	
12	女性会議	高橋 三子	○
13	公民館活動推進員	茂木 一美	
14	学識経験者（議会）	岩田 智教	
15	”（区長会）	金子 一男	

◎委員長 ○副委員長

◎文化財保護審議委員

平成26年4月1日現在

No.	氏名	備考
1	小野英彦	
2	金子一男	
3	谷口明廣	

◎スポーツ推進委員

任期：平成25年4月1日～27年3月31日

No.	役職	氏名	地区・地域	備考
1	委員長	横村久夫	上里東小	
2	副委員長	安藤利一	長幡小	
3	副委員長	青木よし子	長幡小	
4	研修部長	新井英男	賀美小	
5		新井康永	長幡小	
6		高野勇	神保原小	
7		齋藤真理子	賀美小	
8		岸本真紀	上里東小	
9		相川進也	長幡小	
10	広報部長	岩田徹	七本木小	
11		松本宏一	長幡小	
12		蔵内紀子	神保原小	
13		齊藤千恵子	上里東小	
14		小田島寛之	七本木小	
15		並木緑	賀美小	

◎公民館長

平成26年4月1日現在

役職名	氏名	備考
中央公民館長	桑原正明	
賀美公民館長	岡芹孝行	
長幡公民館長	赤見省三	
七本木公民館長	根岸公之	
上里東公民館長	五味一義	代表館長
神保原公民館長	坪山正昭	

◎社会教育指導員

平成26年4月1日現在

役職名	氏名	備考
社会教育指導員	戸口吉雄	

◎ 公民館活動推進員

平成26年4月1日現在

区分	No.	地 区	氏 名	備 考
賀美公民館	1	黛	岸 一	
	2	金上	戸谷 祐	
	3	金下	浦野美喜雄	
	4	金下東	上原 尚城	
	5	内出・西金	須賀 文王	
	6	勝場	塚越 千秋	
	7	原	並木 博	
	8	天神・真下	久保 健一	
	9	堀込	南 光弘	
長幡公民館	10	帯刀	岡田善次郎	
	11	五明	横堀 隆宣	
	12	五明	小島 崔	
	13	長浜	赤見 哲	
	14	長浜	鈴木 安義	
	15	東大御堂	真下 輝男	
	16	西大御堂	清水 宋也	
	17	並木・沖	槁本 善夫	
七本木公民館	18	堤	小林 實	
	19	堤	小林 正美	
	20	三町	福島 隆	
	21	三町	伊藤 文男	
	22	本郷	平柳 實	
	23	本郷	田中 栄一	
	24	嘉美	大久保芳廣	
	25	嘉美	横田 芳郎	
上里東公民館	26	京塚	中山 金光	
	27	京塚	坂本 泰一	
	28	古新田	塩谷はるゑ	
	29	古新田	茂木 一美	
	30	三軒	成田 國廣	
	31	三軒	山崎 俊夫	
	32	三田	高橋 茂樹	
	33	三田	板垣みや子	
	34	三田	田中 賢	
	35	久保新田	内田千代吉	
	36	四ツ谷	新井 邦洋	
	37	西原町東	田中 善夫	
	38	西原町西	三澤 範安	
神保原公民館	39	一丁目	鈴木 正和	
	40	一丁目	竹内 哲也	
	41	二丁目	齋藤 富彦	
	42	三丁目	松井 育	
	43	四丁目	木嶋 拓	
	44	五丁目	大井田 進	
	45	五丁目	岩田 達夫	
	46	宮本町	飯塚 伸一	
	47	宮本町	石田由美子	
	48	東町	金子 幸枝	
	49	忍保	福島 雄助	
	50	八町河原	松下 肇	

上里町々歌

作詞/大鹿英子 補作詞/矢野亮 作曲・編曲/飯田三郎

明るく荘重に
mp



みどりの かぜも さわや—か—に —か が やくひ

mf



か —り そそぐま ち ふるさとの そら うつくしく



ほのかににおう なしのはな あ あ —かみさと かみさと に



うまれた る —このよ ろこび—よ —いつま ても—

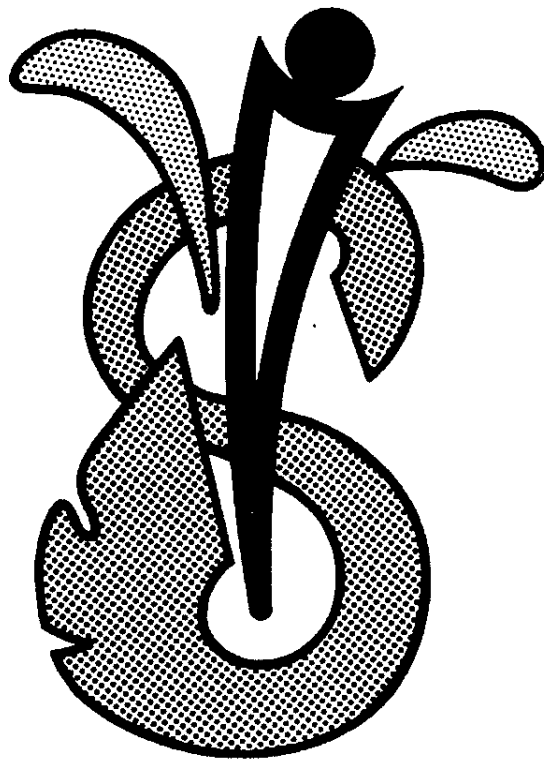
みどりの風も さわやかに
かやく光 注ぐ町
ふるさとの空 うつくしく
ほのかに匂う 梨の花
あ、上里 上里に 生まれたる
このよろこびよ いつまでも

はるかに望む 秩父嶺や
神流のながれ 抱く町
ふるさとの土 あた、かく
ゆだかに稔る 幸の数
あ、上里 上里を 背負いゆく
この生甲斐よ いつまでも

歴史の上に 新しき
ちからを集め 伸る町
ふるさとの人 手をつなぎ
明日にかける 夢の橋
あ、上里 上里よ 栄えあれ
このしあわせよ いつまでも

広げよう！ 心のゆとり 学びの輪

上里町生涯学習推進標語



上里町生涯学習推進シンボルマーク

生涯学習のSからのイメージ

青は“青空”

Sの字の下の部分は“翼”

中心の赤は“意欲的な人々”

緑は“可能性を示す若葉”

